



令和4年度

福 又 求

第46号

福島県スポーツ推進委員協議会



小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険

文化活動やボランティア活動等もご加入できます

公式SNSアカウント



[引受幹事保険会社]
東京海上日動火災保険株式会社

[共同引受保険会社(2023年4月予定)]
あいおいニッセイ同和／共栄火災／損保ジャパン／大同火災／
東京海上日動／日新火災／三井住友海上／AIG損保

スポあんネット

インターネットで
簡単手続き!

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
<https://www.sportsanzen.org>

スポーツ安全保険 検索





巻 頭 言

福島県スポーツ推進委員協議会
会 長 松 田 義

スポーツ推進委員の皆様には、日頃より地域住民の健康と体力の保持増進、そして生涯スポーツ振興に御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

令和4年度は、スポーツ推進委員の研修の場である、新任スポーツ推進委員研修会及び女性スポーツ推進委員研修会を3年ぶりに参集して開催することができ、また、福島県スポーツ推進委員研究大会が4年ぶりにいわき市で開催されるなど、コロナ後の活動の兆しに見える有意義な大会開催となりました。大会開催に御尽力いただきました関係各位の皆様に改めて御礼申し上げます。

また、東北地区スポーツ推進委員研修会は今年度も中止とはなりましたが、滋賀県で開催されました全国スポーツ推進委員研究協議会では、全国スポーツ推進委員の仲間たちとともに、講師の方の貴重な講話や、シンポジウムを拝聴することができ、社会の変化に伴うスポーツの在り方や、それに関わるスポーツ推進委員の役割について多くのことを学ばせていただきました。

現代は、スポーツの価値や環境が大きく変化してきており、「オリンピック・パラリンピックレガシーの継承」や、オンラインの活用による「進化したスポーツへの関わり方」など、急激な社会の変化の中で、私たちスポーツ推進委員は、地域の皆様にスポーツをとおして元気や勇気を与えられる地域スポーツのコーディネーターとして、日々研鑽に努めていく必要があるのだと思います。

令和5年度の福島県スポーツ推進委員研究大会は、喜多方市で開催されます。是非一人でも多くのスポーツ推進委員の皆様に参加いただき、課題の共有を図りながら、参加されたスポーツ推進委員の皆様の資質の向上につながる大会にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、「福体指」発行にあたり、御協力いただきましたスポーツ推進委員の皆様方、編集に携わっていただいた方々に御礼申し上げますとともに、県内スポーツ推進委員、関係各位の皆様方の御健勝をお祈りし「巻頭」の言葉といたします。



挨拶

福島県文化スポーツ局スポーツ課
課長 滝田 勝彦

スポーツ推進委員の皆様には、日頃から、各地域においてスポーツ活動の推進役となり、本県生涯スポーツの普及・振興に御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

令和4年度は、スポーツ界において本県関係選手の活躍が目立ちました。世界バドミントン選手権大会混合ダブルスでの渡辺勇大選手・東野有紗選手の準優勝、ロサンゼルスで開催されたダンス世界大会では、福島東稜高校の一条未悠さんがソロ部門で日本人としては初の優勝を果たす等、数多くの本県関係選手が世界を舞台に活躍しました。また、本県で開催された「全国中学校体育大会陸上競技」では、鏡石中の増子陽太選手が3000mを大会新記録で優勝するとともに、一年に2度の中学生記録を更新するという快挙を成し遂げました。このような本県関係選手の活躍は、県民に元気と復興への活力を届けてくださるとともに、国内外の皆様へ元気な福島を発信できたものと思っております。

さて、県では、令和4年3月に「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」「オリンピック・パラリンピックのレガシー」を4つの柱とした新しいスポーツ推進基本計画を策定しました。県民の誰もが豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」を基本理念とし、地域で心身ともに健やかに暮らすことができるスポーツふくしまの実現を目指す計画となっております。

スポーツ推進委員の皆様には、総合型地域スポーツクラブや地域のスポーツ団体等との連携・協働を促進し、今後も地域スポーツ推進の重要な担い手として、それぞれの立場でお力を発揮していただきますようお願いいたします。

結びに、福島県スポーツ推進委員協議会の御発展と皆様のますますの御活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

目 次

◇ 巻頭言 福島県スポーツ推進委員協議会 会長 松田 義	
◇ 挨拶 福島県文化スポーツ局スポーツ課 課長 滝田 勝彦	
1 令和4年度スポーツ推進委員功労者等表彰受賞者一覧	1
2 文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して	3
矢 祭 町 本 多 春 子 福 島 市 野 田 恒 夫	
3 (公社)全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞して	4
福 島 市 沼 澤 行 晴 二 本 松 市 佐 藤 延 子	
塙 町 遠 藤 公 一 会 津 若 松 市 伊 藤 富 士 江	
南 会 津 町 大 橋 通	
4 (公社)全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰を受賞して	6
南 相 馬 市 南 相 馬 市 スポーツ 推 進 委 員 会	
5 (公社)全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞して	6
古 殿 町 鈴 木 慶 子 泉 崎 村 吉 田 晴 美	
会 津 若 松 市 渡 部 芳 江 南 相 馬 市 小 倉 陽 一	
浪 江 町 川 崎 豊	
6 (公社)全国スポーツ推進委員連合感謝状表彰を受賞して	8
南 相 馬 市 米 津 と き 子	
7 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞して	8
福 島 市 八 巻 純 子 伊 達 市 大 塚 美 代 子	
二 本 松 市 嶋 原 和 洋 大 玉 村 伊 藤 秋 義	
須 賀 川 市 平 栗 俊 一 石 川 町 矢 吹 タ ミ イ	
田 村 市 坪 井 孝 幸 中 島 村 野 木 俊 明	
棚 倉 町 松 本 敏 夫 喜 多 方 市 田 中 剛	
金 山 町 渡 部 秋 子 南 会 津 町 星 近	
相 馬 市 佐 藤 忠 人 富 岡 町 岡 田 貫 児	
双 葉 町 菊 池 直 子 い わ き 市 遠 藤 邦 男	
8 スポーツ推進委員の役割	15
9 ふくしま広域スポーツセンター事業及び総合型地域スポーツクラブ設立状況	18
10 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会	19
11 令和4年度福島県スポーツ推進委員研究大会	20
12 第31回福島県女性スポーツ推進委員研修会	21
13 令和4年度福島県新任スポーツ推進委員研修会	22
14 全国研究協議会・東北地区研修会・県研究大会開催予定地一覧	23
15 分科会発表割当計画表(県・東北)	23
16 令和4年度福島県スポーツ推進委員協議会役員名簿	24
17 令和4年度各支部スポーツ推進委員協議会事務局一覧	25
18 令和4年度市町村スポーツ推進委員会事務局一覧	26
19 各種表彰受賞者一覧	29
20 福島県スポーツ推進委員協議会規約	39
21 福島県スポーツ推進委員協議会の共催及び後援等名義使用承認事務取扱要綱	42
22 表彰規程	44
福島県スポーツ推進委員協議会表彰規程	
東北地区スポーツ推進委員協議会表彰規程	
(公社)全国スポーツ推進委員連合表彰規程	
23 グッツの頒布・機関紙「みんなのスポーツ」購読の案内	50
◇ スポーツ安全保険 宣伝広告	

令和4年度スポーツ推進委員功労者等表彰受賞者一覧

スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰被表彰者

No.	支部名	市町村名	氏名	No.	支部名	市町村名	氏名
1	東白川	矢祭町	本多春子	2	福島	福島市	野田恒夫

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合功労者被表彰者

No.	支部名	市町村名	氏名	No.	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	沼澤行晴	4	北会津	会津若松市	伊藤富士江
2	安達	二本松市	佐藤延子	5	南会津	南会津町	大橋通
3	東白川	塙町	遠藤公一				

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合優良団体被表彰団体

No.	支部名	市町村名	団体名
1	相馬	南相馬市	南相馬市スポーツ推進委員会

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合30年勤続被表彰者

No.	支部名	市町村名	氏名	No.	支部名	市町村名	氏名
1	石川	古殿町	鈴木慶子	4	相馬	南相馬市	小倉陽一
2	西白河	泉崎村	吉田晴美	5	双葉	浪江町	川崎豊
3	北会津	会津若松市	渡部芳江				

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合感謝状表彰受賞者

No.	支部名	市町村名	氏名	No.	支部名	市町村名	氏名
1	相馬	南相馬市	米津とき子	2	いわき	いわき市	佐藤奈美子

東北地区スポーツ推進委員協議会功労者被表彰者

No.	支部名	市町村名	氏名	No.	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	八巻純子	9	東白川	棚倉町	松本敏夫
2	伊達	伊達市	大塚美代子	10	耶麻	喜多方市	田中剛
3	安達	二本松市	鳴原和洋	11	両沼	金山町	渡部秋子
4	安達	大玉村	伊藤秋義	12	南会津	南会津町	星近
5	岩瀬	須賀川市	平栗俊一	13	相馬	相馬市	佐藤忠人
6	石川	石川町	矢吹タミイ	14	双葉	富岡町	岡田貫児
7	田村	田村市	坪井孝幸	15	双葉	双葉町	菊池直子
8	西白河	中島村	野木俊明	16	いわき	いわき市	遠藤邦男

福島県スポーツ推進委員協議会功労者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	福 島	福 島 市	鳥 居 邦 恵	17	西 白 河	白 河 市	穂 積 宏 幸
2			今 野 和 好	18		矢 吹 町	菊 池 克 文
3			佐 藤 晴 美	19			柳 沼 順 朝
4	伊 達	国 見 町	佐 藤 庄 一	20		中 島 村	深 澤 暁 美
5	安 達	大 玉 村	遠 藤 聡	21			大 木 真 一
6	岩 瀬	須 賀 川 市	鈴 木 美 佐 子	22			近 藤 和 亮
7			大 槻 美 智 子	23	東 白 川	矢 祭 町	永 山 貴 章
8			熊 谷 聡	24	両 沼	柳 津 町	牧 野 伸 太 郎
9			松 本 修 一	25		柳 津 町	小 林 浩
10			太 田 滋 美	26		会 津 坂 下 町	五十嵐 智 恵
11		天 栄 村	石 井 勝 博	27	双 葉	川 内 村	鹿 股 保
12	石 川	石 川 町	大 竹 裕 子	28		富 岡 町	遠 藤 隼 人
13			相 楽 次 雄	29	南 会 津	南 会 津 町	田 村 由 起 子
14			大 竹 芳 男	30			梁 取 健
15	田 村	田 村 市	大 河 原 輝 子	31			五十嵐 久 元
16	西 白 河	白 河 市	澤 口 柳 太 郎	32		檜 枝 岐 村	平 野 崇 之

福島県スポーツ推進委員協議会感謝状被贈呈者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	岩 瀬	須 賀 川 市	石 井 文 和				

文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して



「文部科学大臣表彰」を受賞して

矢祭町 本 多 春 子

この度、第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会において文部科学大臣表彰を受賞させていただきました。人口5400人弱の小さな町で活動する私が受賞することは身に余る光栄であり、大変恐縮しております。これもひとえに町、教育委員会、担当事務局、共に活動し支えてくださる同僚委員の皆さん、関係各位の皆様のお陰と心より

深く感謝申し上げます。

昭和61年より37年間、人生の半分以上この活動に参加してきました。バレーボールをはじめに様々なスポーツに挑戦・普及に努め、また、ふくしま駅伝、久慈川沿いを走るコースで、初冬の風物詩となった矢祭ふれあい駅伝、ハイキング教室等各種事業に取り組みました。中でも印象深かったのが保健師事業と共に実施した高齢者健康教室です。介護保険制度が始まる頃で各地区の公民館に外向き、体操やゲーム等で交流を深められた事、たくさん笑顔が見れた事、そして、「いつも楽しみにしてるよ」と言ってくださった事が嬉しく私自身が励まされ元気をもらう事ができました。

これまで多くの方々との出会い交流させて頂き、とても充実した年月で私を成長させてくれ大きな財産となっています。本当に感謝しております。

わが町は人口減少、スポーツ離れ、施設不足、またコロナ禍でもあり各スポーツ大会が開催できない状態が続く危惧する状況にありますが、地域のニーズに合った活動を模索しながら町民の皆さんの健康づくり、生きがいづくり、生涯スポーツの推進と各種事業企画協力と今出来る事を「健康で！楽しく！笑顔で！」をモットーに微力ながら取り組んでいきたいと思います。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げ受賞の御礼とさせていただきます。

ありがとうございました。



「文部科学大臣功労者表彰を受賞して」

福島市 野 田 恒 夫

令和4年11月17・18日、滋賀県草津市で開催されました第63回全国スポーツ推進委員研究協議会の開会式席上において「文部科学大臣功労者表彰」を受賞する事が出来た事は、私にとりましては身に余る光栄であり、恐縮の至りであります。

これもひとえに福島市スポーツ推進委員にご推薦をしていただきました地区の体育協会、そして今日まで私を育ててくださった福島市スポーツ推進委員会の方々の絶大な協力があつたからこそと衷心より感謝申し上げます。

また今日まで続ける事が出来たのも、妻の協力があつたからと改めて感謝をするところであります。

私は平成2年福島市体育指導委員の委嘱を受け、諸先輩の方々の温かいご指導と大勢の仲間の皆様との交流の中で大いに勉強をさせていただきました。いつも思う事ですがこれらの一つ一つの勉強が私の今までの人生の大きな柱となり、一つ一つの経験が多くの引き出しとなり私を支え育ててくれました。

これを機に自分の年齢をも視野に入れ、自分の出来る事で皆様に恩返しが出来たらと思う所であります。今後とも自己研鑽に努めてまいりますので、皆様からの一層のご指導をいただきます様お願いを申し上げます。

最後になりますが、この受賞にあたりご尽力をいただきました事務局の皆様はじめ、関係各位の皆様に対し感謝を申し上げまして、受賞の御礼の言葉とさせていただきます。

有り難うございました。

(公社) 全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞して



全国功労者表彰を受賞して

福島市 沼澤 行 晴

この度、全国功労者表彰を受賞できたことは、身に余る光栄であります。受賞にあたり、福島市、先輩体育指導委員、同僚スポーツ推進委員の皆様方のご指導の賜物と、心から感謝申し上げます。

レクリエーション・コーディネーターとして、インディアカを中心にニュースポーツやレクリエーション全般を

県内で、普及活動をしておりました。福島市はふくしま国体後、生涯スポーツを強化することになり、平成8年委嘱されました。

さて、今年は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、スポーツ活動も3年ぶりに、再開している所もあります。しかし、新型コロナワクチンを接種したくてもできない人もいます。

福島市はボッチャに力を入れています。障がいを持った人、持たない人も「共に生きる」社会基盤が重要です。そのためには、研修会や研究大会等は学びの場、機関紙「みんなのスポーツ」で自己研鑽して、今後も新しい生活様式の定着やeスポーツを含めて「発想の転換」が、必要と考える今日この頃です。

私たちはスポーツを通して、市民が生涯にわたり心身ともに、健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現を目指しています。そのためには、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを通じて、スポーツに自発的に参画し「楽しさ」や「喜び」を得ることで、スポーツそのものが有する価値やスポーツが、社会活性化等に寄与する価値を高めることが重要です。そのスポーツは「住民」「行政」「スポーツ推進委員」の三方良しを願って。

全ての出会いに感謝し、御礼の言葉といたします。ありがとうございました。



「得たものの確かさ」

二本松市 佐藤 延 子

全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会において全国功労者表彰を受賞して参りました。身に余る光栄に先輩諸氏のご指導と仲間の心強い支えにただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

私の委員としての出発は、当市の体育指導委員辞令交付でした。あれから30年近く、名称が変わり、市は大きくなり

活動する地域も広がりました。その間、世相の変化や物事、事物の変化に追いつくべく勉強しなければならないことが多くなりました。総合体育館建設が計画されている時期、各地の体育館や施設を研修し、委員の方々と意見の交換をしたり、羨ましく思ったり、実行できそうな企画を夢見たりしましたがそんな研修や交流がどんな成果があったかは定かではありません。自分の技量のなさを実感する事が多くなり、即席づけのような勉強をする事もありました。ラジオ体操の普及をすべく資格取得の講習会に参加し、その後、職場やスポーツ教室等で各地へ出向き普及につとめながら交流の機会も多く持ちました。また、青森で開催された東北大会では、総合型地域スポーツクラブと推進委員とのかかわり合いについて発表の場を作っていただいた事も貴重な経験です。

最近は、主に高齢者スポーツ教室、ニュースポーツの講習会などを担当し共に楽しんでいます。毎年、年末年始になると各種の駅伝競技が行なわれますが、あの頃行われていた「青東駅伝」に係員として参加し、記念にいただいたメダルを懐かしく思い出しながらテレビ観戦をしています。多くの方とスポーツ推進委員を通して交流をさせていただいた事に感謝し、私自身の心の中に小さくも確かに得た“モノ”を実感しております。有難うございました。



全国功労者表彰を受賞して

埴 町 遠 藤 公 一

この度、全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞いたしました。昨年は「30年勤続者表彰」をいただくことができ、続けての受賞は大変身にあまる光栄と思っております。

思い起こせば、「スポーツが好き」「身体を動かすことが好き」とそんな軽い気持ちで、平成3年に埴町体育指導員

としての委嘱を受けましたが、30年以上継続でき、さらにこのような栄誉をいただけたのは、長年にわたり活動とともにしてまいりました先輩委員、同僚委員、埴町教育委員会、そして家族やその他多くの方のお陰と思います。

近年スポーツの在り方も様変わりしてきました。ウサギ跳びや水も飲めない辛い練習、ただひたすらに走らされたそんな時代から、トレーニングも科学的に行なわれメンタルも重要視されるようになりました。企業を中心とした実業団のスポーツからプロスポーツに変化してきました。一方、一般の方々に向け総合型地域スポーツクラブの役割が取り沙汰され、私も総合型地域スポーツクラブの立ち上げに携わってきました。地域の方々の笑顔に支えながらの活動に苦勞と学びと喜びを感じました。

今後も各スポーツで日本人選手や地元選手がめざましい活躍をしていることに刺激されながら、スポーツに勤しみ、心身ともに健康で過ごせることのお手伝いをこれからもしていきたいと思ひます。

最後になりましたが、改めてこれまでいろいろご尽力をいただきました関係各位の皆様へ感謝申し上げます。



全国功労者表彰を受賞して

会津若松市 伊 藤 富士江

この度、第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会において、全国功労者表彰を受賞することが出来ましたことは、大変身に余る光栄であります。

この受賞は、ひとえに永年に渡り御指導、御支援いただきました会津若松市教育委員会、先輩方や同僚委員の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

ふり返れば、平成13年（2001年）に体育指導委員（旧名称）の辞令を受け、更に途中で市町村合併があり、そんな中で、名称がスポーツ推進委員になり、上手く活動できるか不安でしたが、現在も活動しているニュースポーツの出前教室に触れることが出来ました。しかしながら現在は、コロナ禍の影響で出前教室依頼活動が減少していますが、その中で我々委員は、毎月定例会を開催しニュースポーツ（あいづフラボール）の普及活動に取り組んでいます。その他にも鶴ヶ城ハーフマラソン大会や各種協議会の運営に積極的に参加しながら、これからも多くの方々との出会いを大切に、これまでの経験と活動を活かして自己研鑽していきたいと思ひます。

最後に、皆様に感謝を申し上げ、御礼のあいさつとさせていただきます。



「全国功労者表彰を受賞して」

南会津町 大 橋 通

この度、第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会の席上、全国功労者表彰を受賞することができ、誠に身に余る光栄と感謝の気持ちでいっぱいであります。

今回の功労者表彰は、旧田島町から合併後の南会津を通じて初の受賞となり、町、教育委員会をはじめ、多くの先輩委員や同僚スポーツ推進委員の皆様のご支援、ご協力の

賜物と敬意と御礼を申し上げます。

全国研究協議会及び東北地区研修会、県研究大会は、この2～3年はコロナ禍の影響で中止となり、新型コロナウイルス感染症は未だ収束しないばかりか変異を繰り返しながら拡大傾向にあります。そんな中でも私たちはどこまで、どのようにその活動をしてよいか、模索しているところでありますが、ようやく本年度からはwithコロナの中、十分な感染対策と地域住民の理解を得ながら行政指導と適切な形で地域にあった活動となっております。

当町では屋外スポーツを中心に「陸上記録会」「少年少女ソフトボール、ドッジボール大会」「アルペンスキー大会」「クロカンスキー大会」等々、コロナ禍の中でも「今出来ること」から活動を継続してきました。

今後、第3期スポーツ基本計画では「する」「みる」「ささえる」ことを通じてスポーツに自発的に参画し、「楽しみ」や「喜び」を得る事でスポーツ社会の活性化等に寄与する価値を高める必要があるとのことです。地域の特性を活かした取組みにおけるスポーツ推進委員に期待される役割が求められているのです。

今回の受賞を機に、更なる高みを目指しながら地域スポーツの推進と健康増進の一端を担えるような役割を果たしたいと思ひます。これからも関係各位様の御協力、御指導をお願いいたします。

（公社）全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰を受賞して

「全国スポーツ推進委員連合
優良団体表彰を受賞して」
～人に健康を、まちに元気を～

南相馬市スポーツ推進委員会

代表していただいた賞であり、関係各位のご支援・ご協力に対しこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

本委員会は、「健康第一！」を目指し、地域の生涯スポーツ（ニュースポーツ）の取り組みをはじめ、生涯スポーツの普及発展、地域住民のスポーツを通しての健康づくりに努力を重ねてまいりました。「いつでも、どこでも、誰とでも、生涯にわたってスポーツに親しむ南相馬市！」を合い言葉として、『人に健康を、まちに元気を』を健康づくりスローガンとして、出会いを大切にし、また、委員が「心一つ」にし、市民が興味関心を持つ「喜び多い活動」をして参りました。しかし、令和2年からのコロナ禍による行動の規制・制限などにより、今は「発想の転換」を念頭に、本委員会は、自己研磨に努めこれまでの経験から、変化（課題）に対応できる各地区の総合型スポーツクラブ等の育成・活動を支援しています。より以上の『絆』で「福幸」を目指し、地域のスポーツのコーディネーターとして、地域の活性化、健康長寿の社会の実現、子ども・若者のスポーツ活動の推進など、微力ながら一步一步、地道に取り組んで、次の世代に継承して行く役割も担っていけるように、努力していきたいと存じます。

結びに、今回の受賞は、本委員会はもとより県内のスポーツ推進委員の皆様、相馬支部のスポーツ推進委員の皆様にご支えられてのものと感謝申し上げます。今後とも市民のスポーツ推進に向けて頑張りますので、関係各位の皆様方のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。すべてに感謝！“ありがとうございました”

去る11月、滋賀県草津市にて開催されました「第63回全国スポーツ推進委員研究協議会」の席上、本委員会は優良団体表彰を受賞いたしました。この受賞については、平成30年10月に南相馬市で開催した「福島県スポーツ推進委員研究大会」での企画・運営等が評価されての受賞と受け止めております。相双地区を



（公社）全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞して



30年勤続者表彰を受賞して

古殿町 鈴木 慶子

この度、全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会に参加させていただき30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞することができましたことは大変身に余る光栄であります。これまでには関係機関の皆さま、諸先輩、スポーツ推進委員の方々のご支援・ご指導をいただき、陰で支えてくれていた家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。スポーツを通じて年齢差も感じさせずたくさんの経験、たくさんの出会いと交流の中多くのことを学び得ることができ人間としても成長させていただいた貴重な30年でした。私にとってすばらしい財産となりました。まだまだコロナ禍が終息むずかしい日々、以前のような日常生活を送り誰もが普通にスポーツができる日々が戻ることを願って、これからもスポーツ推進委員の仲間と共に協力しスポーツ振興と青少年の健全育成のために、一層の努力をして次世代の皆さんへ伝えていけたらと思っています。

今後とも皆さまのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



「30 年勤続表彰を受賞して」

泉崎村 吉 田 晴 美

この度、令和 4 年度全国スポーツ推進委員30年勤続表彰を受賞できましたことは、身に余る光栄でございます。これもひとえに各関係機関、諸先輩の方々、同僚推進委員、そして地域の皆様のお陰であります。改めて御礼申し上げます。

村から平成 3 年 4 月に旧体育指導委員として委嘱を受けて以来、老若男女が一堂に会しての村民体育祭等に関わり、微力ではありますがスポーツ振興に貢献できたと考えております。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピック、サッカーワールドカップカタール大会開催を機にさらにスポーツに対する関心が高まってきております。コロナ禍により依然として人々の交流の場が制限されている中でも、日々の体力向上・健康増進のためにスポーツの果たす役割は大きいものと思います。今後とも、スポーツ推進委員として、多くの皆様が元気で活力ある生活を送れるよう地域スポーツ振興に貢献して参る所存でございますので、皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



30 年勤続者表彰を受賞して

会津若松市 渡 部 芳 江

令和4年11月17、18日滋賀県草津市にて開催された「第63回全国スポーツ推進委員研究協議会」にて30年勤続者表彰を受賞させていただきました。これも諸先輩の方々、そして一緒に活動した仲間のスポーツ推進委員の皆さん、関係各位の御指導の賜物と感謝申し上げます。

滋賀大会では、東京2020パラリンピックのトライアスロン銀メダリストである、宇田秀生先生のお話がとても感動的でした。会場で、実際に銀メダルを皆さんに触らせてくださいました。宇田秀生先生はとても前向きで、県内の小学校などで講演活動もよくされているそうです。

人生100年時代と言われている昨今、生涯スポーツはなくてはならない大事な分野ではないかと思います。私達も、もっといろんな事でワクワクしたり、地域のみなさんをワクワクさせたいものです。健康で生き活きとした生活が長く続くよう、ニュースポーツなどの普及・サポートに努め、楽しみながら笑顔の絶えない地域づくりのお役に立てるよう、微力ながら取り組んでまいりたいと思っています。今後とも皆様の御指導、御協力よろしくお願い申し上げ受賞の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。



「30 年勤続表彰について」

南相馬市 小 倉 陽 一

この度、全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞させていただきましたことは、身に余る思いであり誠にありがとうございます。これもひとえに、ご指導ご支援くださいました関係各位の皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。思い起こすと、平成 4 年に当時の体育指導委員として任命を受け、ただただ自分が大好きな様々なスポーツ

を偉大な先輩方と一緒に続けて参りました。長いようで短かった30年でしたが、色々なことがあった30年でした。震災があり、新型コロナがあり、生活するのが精一杯でスポーツができない期間もありました。そのような状況で助けてくれたのは、やはり、スポーツ推進委員の諸先輩方や仲間たちでした。その恩を返すためにも今、自分ができることは、スポーツ推進委員として、市民の皆さんに少しでもスポーツの楽しさ、体を動かすことの大切さを伝えること。さらには、スポーツを通した仲間作りを伝えていけたらと感じているところです。「スポーツの力でみんなを笑顔にしたい。」元気に前を向いて、住民と寄り添い、生涯スポーツの振興および地域スポーツの推進、誰もが気軽に楽しくスポーツに参加できる環境づくりに、微力ですが寄与していきたいと思っております。今後もスポーツ推進委員として、市民の皆さまの健康で明るい生活を送る一助となるよう、スポーツ交流や教室での出会い、繋がりを大切に参りたいと思います。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。最後に、今回勤続30年の表彰を受け、改めてこれまで出会った全ての方々に感謝すると共に、自分を支えてくれた家族に御礼を伝えたいと思います。ありがとうございました。



30 年勤続表彰を受賞して

浪江町 川 崎 豊

この度スポーツ推進委員の委嘱を受けて30年勤続の表彰をいただきました。

これも諸先輩の方々や地域の皆様、家族の協力によりできたものと心より御礼申し上げます。

私はバドミントンが好きで町内でなんとか広めたくて活動を進めました。

同好会・クラブを結成し、地区代表・市町村対抗大会に参加させていただきました。

そんな中、先輩方よりスポーツ推進委員にならないかと声をかけていただきました。

スポーツ推進委員の活動では町主催のマラソン大会・あるけあるけ初日詣大会などの様々なイベントの運営に携わり教えてもらうことがたくさんありました。

あの忌まわしい震災と原発事故で一時途切れはしましたが、現在は町内在住の方々と楽しい運動・体力テスト等、誰もが参加できる運動を企画し進めています。これからもこのような楽しい企画を進めていければと思います。

今回受賞させていただきありがとうございました。

(公社) 全国スポーツ推進委員連合感謝状表彰を受賞して



「感謝状表彰を受けて」

南相馬市 米 津 とき子

この度、滋賀県で開催された令和4年度第63回全国スポーツ推進委員研究協議会において、スポーツ推進委員感謝状表彰を受賞しましたこと、誠に光栄であり深く感謝申し上げます。これもひとえに、これまでご指導、ご支援いただきました諸先輩方、委員の仲間をはじめ、多くの皆様方のご協力の賜物と重ねて感謝いたします。さて、私がス

ポーツ推進委員になったのは平成2年ですので、早いもので30年以上が経ってしまいました。これまで推進委員としての活動を通して、様々な面で大変有意義な時間を過ごさせていただきました。全国大会、東北大会、県大会、相馬地方大会と、色々な土地に足を運びたくさんの方の事を学ばさせていただきました。そして、とても貴重な体験や、何より各地域の美味しいものをいただけたことは、私にとってかけがえのない思い出であり、大切な財産となりました。本当にありがとうございます。

現在、スポーツ推進委員が重要なポストとして位置付けられていることは言うまでもありませんが、中学校部活動や総合型地域スポーツクラブとのかかわりも必要不可欠であり、関係者一丸となり取り組んでいく課題でもあります。未来ある地域づくりを達成するためにも、さらなる努力を惜しまず精進し、微力ではありますが貢献できたらと思っています。更には、スポーツ推進委員の年齢層も高くなっておりますので、後継者の育成にも注力していきたいと思っています。

最後に、今後も老若男女がお互いを理解しあいながら一緒にスポーツを楽しめる地域社会づくりに努めて参りたいと思いますので、皆様の変わらぬご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げますと共に、スポーツ推進委員に携わる皆様の益々の発展をご祈念申し上げ御礼のあいさつといたします。

東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞して



東北地区功労者表彰を受賞して

福島市 八 巻 純 子

この度は東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を頂戴し、誠にありがとうございます。これも諸先輩方のご指導ご助言、仲間の皆様方のご協力や家族の理解があればこそと、あらためて心から感謝申し上げます。

平成14年に福島市体育指導委員に任命され、何もわからないまま参加いたしましたが、スポーツ推進や普及活動の

重要性や識者の方々の講話やスポーツ研修、県内外のお仲間との交流を通じて様々な事を学ばせていただきました。このように市民や地域住民の体力づくりや健康増進をはかりながら地域の交流を進めていく活動は、私が以前から生涯スポーツとして取り組んでいるバレーボール活動とも相通じるものがあり、この経験を両活動に活かし、微力ながらも貢献できますよう今後も精進していきたいと存じます。



地域と共に

伊達市 大塚 美代子

私が体育指導委員（現スポーツ推進委員）の委嘱を受けたのは梁川町に嫁いで直ぐの事でした。右も左も分からない私は知り合いもいないところだったので、まずは「地域の方々と仲良くなりたい」そんな気持ちが後押ししていました。

私は主に水泳指導を担当し、小学校の水泳指導や町民プールでの指導、大会役員などのお手伝いをする機会を得ました。小学校の水泳大会などでは一生懸命に頑張る子どもたちの姿はとても感動的でした。

秋にはマラソン大会があり、たくさんの参加者が集まり伊達市の町々も賑わいをみせていました。マラソン大会役員の為、後尾車に乗り応援して下さっている地域の方々に手を振って、私もいつの間にか「がんばれー」とマイクで応援していたのを鮮明に覚えています。

スポーツを通して沢山の感動と人とのふれ愛があったように感じます。

このたび令和4年度東北地区推進委員協議会功労表彰を受賞出来た事は、感動を共にして頂いたお仲間、そして家族の協力があったお陰であると心から感謝に堪えません。本当にありがとうございました。

今まで数多くの混乱によりスポーツ行事など中止になりできる範囲が制限され、地域の方々との交流も少なくなりました。

しかしそんな中ではありますが先日行われましたサッカーワールドカップでは、日本中が感動しひとつとなりました。力強い世界の選手たちにより、大きな勇気や夢を頂きました。

スポーツの力を改めて痛感した次第です。今後コロナ禍が収まりすべての行事が行われますように、そしてスポーツ推進委員として「誰でも参加でき、子どもから大人まで楽しめるスポーツ」をめざして活動して参りたいと思います。

これからも、スポーツを通して地域の方々お一人ひとりの健康と笑顔を願っています。

「笑顔は健康から、健康は笑顔から」顔晴れ！顔晴れ（がんばれ）

どうぞ今後とも皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



「選手の活躍に感動」

二本松市 嶋原 和洋

この度、令和4年度東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を頂きまして、誠にありがとうございました。諸先輩や仲間そして教育委員会生涯学習課など多くの皆様のご指導とご協力があったの受賞と感謝申し上げます。

私は、どちらかと言うと運動が苦手でしたが、50年ほど前中学校の部活動でバドミントンの楽しさに出会い、今も

続けています。40年ほど前からは小・中・高校生の指導を先輩と一緒にしてきました。底辺拡大をしようと言う事で小学生大会や中学生大会を地元東和町で開催してきました。当時は練習に参加する人数も多くなり、私が小学生、先輩が別会場で中学生の指導をして、多くの選手が県大会はもとより東北大会や全国大会で活躍できるようになりました。

しかし、現在若年層の流出や少子化により子供自体が少なくなってしまうチームで団体戦が出来ない状況になってしまいました。今後中学校の部活動改革などがあると聞いていますが、どのように変化するのか心配です。また、仕事が忙しいのか若い人達が練習に参加できない状況で寂しい限りです。

スポーツの楽しさそして選手の活躍に感動すべく、もう少しバトンを引き渡すまで微力ではありますが、これからも携わって行きたいと思います。ありがとうございました。



これまでの感謝と新たな希望

大玉村 伊藤 秋義

このたび、令和4年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞することができました。これもひとえにスポーツ推進委員の皆様と関係各位のご指導とご協力、そして家族の支えがあったの賜物と思い、心より深く感謝申し上げます。

私は陸上競技をしていたことで「ふくしま駅伝」と出会い、選手として長きにわたり村に携わってきました。そこから縁あってスポーツ推進委員の話を頂き、委嘱されてからいつの間にか22年もの月日が経ちました。推進委員の研修等を受講してきてスポーツの楽しさ、面白さ、奥深さを知ることで、指導者としての知識を磨くこともできました。現在は村駅伝チームの監督を務めさせてい

ただき、毎年ふくしま駅伝に向けて活動することと選手との交流が自分にとっても生きがいになっています。また、令和3年度からは総合型地域スポーツクラブ「おおたまスポーツクラブ」のサークルにランニング部門を設けさせていただき「おおたまランニングクラブ」として活動もしています。子どもから大人までだれでも自由に参加でき、健康促進と地域住民のコミュニティの場として「ランニング」＝「走る」がより楽しく、面白いものだと広く認識されて、住民へより多く浸透してもらい、将来様々な舞台で活躍する方々が誕生するきっかけのサークルでありたいと願っています。

新型コロナウイルスがもたらす影響は、スポーツをするうえでも計り知れない脅威です。一刻も早く、コロナ前の安心してスポーツができる環境が戻ることを祈ります。

私は今後もスポーツ推進委員として、さらなるスポーツの発展のために微力ながら力を注ぎたいと思いますので、関係各位の皆様のご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく願いいたします。



「東北地区功労者表彰を受賞して」

須賀川市 平 栗 俊 一

この度、令和4年度東北地区スポーツ推進委員連絡協議会功労者表彰を受賞できたことは、誠に身に余る光栄であり、大きな喜びであります。これもひとえに、須賀川市スポーツ推進委員連絡協議会の諸先輩はじめ仲間の皆様のおかげです。本当に有難う御座いました。

私は、平成16年4月より須賀川市体育指導委員に任命され活動を開始しました。現在も在職中の会社員ですが、仕事との両立ができるか不安でした。元々野球・スキー・ゴルフなど運動することが好きで、スポーツを通じて社会に役立つことができたかと考えていた時に、地元の先輩から要請があり引き受けた次第です。その後、先輩と同じように活躍したいと考え地区や市の会合にできるだけ出席し活動を続けて参りました。

須賀川市スポーツ推進委員連絡協議会では、自主事業として、ファミリーバドミントン大会や新春バレーボール大会、須賀川市発祥のラバーバレーボール大会を行っています。活動開始当初は、各種目の知識もルールも解らなかった私は、ルールブックを購入しての自主学習や先輩や仲間の皆さんにご指導を頂きながら大会で審判を務めることができるようになりました。アウトドア系のスポーツ出身者からすると屋内中心のスポーツ競技に慣れるのに苦慮した思い出があります。

これからは皆さんと協力をして、私たち自身が「健康で」「楽しく」「だれでも、どこでも、そしていつまでもスポーツに親しむ」をモットーに、多くの皆さんがスポーツに携わるきっかけづくりと健康維持増進に寄与できるよう活動を進めていきたいと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

結びに、これまでスポーツ活動に携わって頂きました皆様のおかげでこのような賞を頂く事が出来たことに深く感謝いたします。有難う御座いました。



東北地区功労者表彰を受賞して

石川町 矢 吹 タミイ

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞することができましたことについて、大変喜ばしく身に余る光栄と感謝申し上げます。

今回の受賞に対しては、諸先輩方の御指導、御協力の賜物と感謝し、改めて御礼申し上げます。

振り返ってみますと、あっという間に年が過ぎ18年間スポーツ推進委員として町及び地域のスポーツ・ふくしま駅伝等多くの人々と出会い交流することで、様々な経験ができました。

今後も皆様の健康で豊かな社会形成のために地域のスポーツ振興に貢献していきたいと思いますので、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。



「東北地区功労者表彰を受賞して」

田村市 坪 井 孝 幸

この度、令和4年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を頂きまして、誠にありがとうございました。これも偏に、諸先輩方や現スポーツ推進委員の方々、教育委員会等関係各位の方々のご指導・ご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。また、スポーツ推進委員の活動を理解してくださった職場の皆様や家族のサポートに感謝し

ております。

私は、平成13年4月に市町村合併前の旧常葉町体育指導員に任命（委嘱）され、その後田村市スポーツ推進委員として、地域スポーツ大会への協力やニュースポーツ講習会への参加等、様々な活動を行い、現在に至っております。

最初は、思っていたよりも事業・イベントなどが多く大変な役目を引き受けてしまったなと後悔したこともありましたが、先輩方のご指導のもと多種多様なスポーツの経験と交流を通じて、様々な知識と友人・知人を得ることができました。心身共に健康な地域作りのため、子どもから高齢者まで気軽に、いつでも、どこでも、誰でも、スポーツを楽しめるよう、スポーツ推進委員の一員として携わっていきたいと思っています。今までの諸先輩方からの教えをつなぎ、これからの若い世代のスポーツ推進委員の方々につなげていければと思っています。

これからも地域のスポーツ活動の発展のため、心新たにスポーツ推進委員として、地域と行政を繋ぐコーディネーターとしての役割を、微力ではありますが担っていければと思っています。これからも皆様方からご指導、ご協力を頂けますようよろしくお願い申し上げます、受賞の御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



東北地区功労者表彰に感謝

中島村 野 木 俊 明

この活動に参加してもらいたいとお願いされ何もわからないまま参加して22年が過ぎようとしています。先輩方、一緒に活動してきた推進委員の皆さま、関係各機関の皆さまのご協力がありこれまで続けてこれたと思っています。スポーツの普及、どのようにしたら地域の皆様にスポーツの楽しさを伝えていけるのか現在も模索してい

る所です。またここ数年はコロナの影響で活動が制限されている状況です。これまでのような活動ができるのがいつになるのか、これまでのような活動が続けていけるのかと不安も感じます。しかし、いつかはこれまで同様の活動ができるような環境を整えていなくてはと考えています。一緒に活動するスポーツ推進委員の皆様、関係機関と協力して活動を進めていきたいと思ひます。

この度、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を受賞することができましたことは誠に身に余る光栄であり、地域の方々並びに共に活動していただいている推進委員の皆様、関係機関の皆さまに深く感謝申し上げます。

これからも、スポーツの楽しさ、スポーツを通して仲間との関わりを深めていけるような取り組みができればと考えています。今後とも、皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げ感謝の言葉といたします。



感 謝

棚倉町 松 本 敏 夫

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞頂き大変嬉しく思います。平成4年に体育指導委員としてスタートして、沢山の先輩、後輩、棚倉町役場担当職員の皆様に御指導、ご協力頂き気が付けばあつという間の22年間でした。

振り返りますと棚倉町のスポーツ発展に何が出来たのだろうかと考えてしまいましたが自分なりに協力しようと頑張りました。微力ですがふくしま駅伝では選手の送迎付き添いは、22年間休まずお手伝いが出来ました。

また棚倉町老人会の運動会は出来る限り補助員で参加して、年配の方の足が速いのにはびっくりします。私もあんな歳のとり方をしたいなあと思ひます。

その他の行事にも完璧ではありませんが出来る限り参加しました。

ここ数年はコロナ禍で、スポーツ推進委員東北大会も中止になっていて寂しいです。地域で思うような活動が出来ないのも残念ですが感染症と上手く付き合ひながら何か出来る事はないか、模索しながら引き続きスポーツ推進委員として棚倉町のスポーツ振興、発展、継続に頑張っていきたいと思ひます。

私に携わって頂きました皆様に感謝しまして受賞のお礼とさせていただきます。



みんなの協力があって

喜多方市 田 中 剛

この度は、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を頂きまして、誠にありがとうございます。

これもひとえに諸先輩方や同僚の推進委員の方々、喜多方市教育委員会生涯学習課など多くの皆さんの御指導、御鞭撻があったからだと思っており、心より感謝申し上げます。

さて、私は平成17年4月1日に市町村合併前の旧山都町体育指導委員に任命され、その後喜多方市スポーツ推進委員として現在まで務めています。

体を動かすことが好きな私は、特に登山が好きで、飯豊山には年3回程度登っています。会津若松市の山岳会に入会しており、県内や隣県の山へ登りに行ったりしています。

登山のイベントなどに参加した際、体育指導委員の先輩に誘われ、楽しそうだ、やってみようと思ったのが、体育指導委員となったきっかけです。

指導委員になってからは、町の行事や小中学校の学年行事などへ積極的に参加してきましたが、参加するたびに皆さんに顔を覚えてもらい、楽しい時間を過ごすことができました。合併してからは町以上に行事が多く、自身の職場も変わったことにより参加できる時間が少なくなりましたが、桜ウォークやオリンピックデーラン、蔵のまち喜多方健康マラソン、シティレガッタなど、毎回参加する方々に「今回も来たよ」と声をかけてもらい嬉しいかぎりです。

未だに新型コロナウイルス感染症の影響による行事の中止が多いですが、小中学校の学年行事や公民館事業へ行くことが増えてきました。これからも出来るかぎり行事や学年行事に参加して、市民の皆さんへスポーツは楽しいということを伝えていきたいです。



仲間感謝

金山町 渡 部 秋 子

この度は、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞することができ、大変喜ばしく身に余る光栄と感謝を申し上げます。これまでに、諸先輩方や地域の方々、関係者の皆様には、ご協力を賜わり誠にありがとうございました。

最初は体育指導委員として命ぜられ、先輩方たちと色々な研修会に参加させていただき、とても楽しかったのを思い出されます。スポーツ推進委員をやっていなければ、こんなにも色々なスポーツがあることを知ることはなかったと思います。金山町スポーツ推進委員として20数年がたち、私が一番年長になってしまいました。今までに色々な人とのふれあいがあり、私の財産となりました。小さい頃からスポーツが大好きで、毎日真っ黒になり暗くなるまで外で遊んでいたのを思い出されます。これからも地区の人たちとスポーツを通してふれあいが出ることを楽しみにしています。今はコロナで大変な時期ですが、これからも仲間達と皆様にスポーツの楽しさを伝えていきたいと思っています。

最後になりますが、こんなにも長く続けられたのも、皆様と家族の協力があったからだ感謝しています。今回の受賞を受けまして、スポーツ推進委員としてより楽しくスポーツ活動に尽力していきたいと思っています。これからは皆様のご協力とご指導を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



「東北地区功労者表彰を受賞して」

南会津町 星 近

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰の受賞、誠に有難うございました。

私は、スポーツ少年団の指導を通じ、当時の体育指導委員の委嘱を受け、現在に至っております。ここ数年、新型コロナウイルスの影響で各種大会が中止になり、スポーツをする機会が減っており、各地区の委員の皆さんもどうし

たら住民参加型のスポーツができるか、安全にスポーツをするにはどうすればよいか苦勞されているものと思います。

私は、町民の皆さんが体を動かし、健康でいられるよう、スポーツ推進委員として少しでもお役に立てるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

最後にこのような表彰をいただき、関係機関の皆様、同僚の推進委員の皆様に御礼と感謝を申し上げます。



「東北地区功労者表彰を受賞して」
(明るい未来に向かって)

相馬市 佐藤 忠人

この度、令和4年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞いたしましたことは大変身に余る光栄であり、これも共に活動して頂いた委員の仲間をはじめ諸先輩、関係機関の皆様の御支援と御指導の賜物であり、深く感謝申し上げます。

思えば、スポーツ少年団の指導者時代に旧体育指導委員として辞令を受けて以来、多くの方々に出会い活動を共にして参りました。この間、微力ながら地域のスポーツ振興、そして多くのスポーツ競技の指導を通してチームワークの大切さ、さらに住民の体力向上・健康づくりやスポーツの普及発展、そして子どもから高齢者まで地域が元気で明るい生活を送れるような取り組みをサポートしてきました。

しかし、近年少子化などの影響もあり様々なスポーツ少年団が数を減らし、また、2011年の東日本大震災に加え、近年の台風による甚大な被害、そして2度の大地震で多重被災し更にコロナ禍にも翻弄され続けることとなりました。これらのことから新しい生活様式が次々と提言され、以前とは全く違う暮らしが始まりました。

今後は安心してスポーツを楽しむ活動とはどういうものなのかを仲間と共に協議しながら、今後の活動に役立てていきたいと思います。また、今回の受賞を機に、改めてスポーツ推進委員の一委員として、地域全体が元気で明るい生活が送れるよう、皆と力を合わせて頑張っていきたいと思いますので、今後も皆様の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、受賞の御礼と致します。



「東北地区スポーツ推進委員会
功労賞を受賞して」

富岡町 岡田 貴児

この度は、東北地区スポーツ推進委員協議会での表彰を受賞させて頂き誠に有難う御座います。此れもひとえに、教育委員会等関係機関のお心添えや、諸先輩並びに志を同じくして活動する仲間の協力が有ったのだと思います。ここに改めてお礼を申し上げます。有難う御座いました。

小生が、本職務に任用させて頂いたのは、平成8年4月(1996年4月)になります。任用当初はニュースポーツとの呼称で多くのスポーツが盛んな時期であり、インディアカ或いはフライングディスク等、今まで自分が経験して来なかったスポーツについて、地域の総会或いは福島県の研究大会等で知り、時には身を持って経験させて頂いた事は、今まで自分が経験したスポーツとは違った「こんなスポーツも有るのか」と、スポーツに対する知識を増やす事で自分も成長できたものと感謝しております。

今年で任用から丸26年が経過し、その間東日本大震災による地震と原子力発電所の事故により、自分がすべき活動が出来ない期間もありましたが、地域の避難解除に合わせて、少しずつですが活動出来るようになりました。全てが震災前のようにとは行きませんが、地域の人々がスポーツを通して、笑顔を取り戻す事で、地域が少しでも活性化出来ればと思います。自分も微力ながらそのお手伝いをさせて頂くことで、少しでも復興の一助になればと思うところです。

私事ですが、自分は還暦(+2)を過ぎても週1回バドミントンで汗を流しております。当然競技ではなく、健康作りですが(笑)。怪我をしないように、出来る歳まで続けて行こうと思っています。

以上、一読頂き有難う御座いました。乱文方ご容赦お願いします。



「東北地区スポーツ推進委員
功労賞表彰を受賞して」

双葉町 菊池 直子

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞することができましたことは、誠に身に余る光栄と思っております。これもひとえに、町教育委員会など関係各位の方々をはじめ、現スポーツ推進委員及び諸先輩方の御指導、御支援の賜物と深く感謝し、改めて御礼申し上げます。

平成13年に体育指導委員(現スポーツ推進委員)に任命されて、右も左も分からないまま、町の行事である町民体育祭、山登り大会、チビッコ相撲大会等に諸先輩方や同スポーツ推進委員の方々に御指導いただき、微力ながら携わる事ができました。またスポーツ推進委員研修会に参加して学んだいろいろなニュースポーツを町民の皆様とともに、スポーツ大会として開催できたことは、私にとっても有意義な経験でした。

平成23年の東日本大震災、原発事故等でいまだに町民は全国に避難していますが、今年9月に12年目にしてようやく双葉町役場が戻るようになりました。それにともない双葉町で町民体育祭(ふたばスポーツフェスティバル)の開催の計画をたてましたが、残念なことに悪天候により中止となってしまいました。

《スポーツ推進委員の資質》

- 社会的信望がある。
- スポーツに関する深い関心と理解がある。
- 職務を遂行する熱意と能力がある。
- 事業の実施に係る連絡・調整を行うことができる。
- 地域住民に対してスポーツの実技指導ができる能力を有する。
- 地域におけるスポーツに関する指導及び助言ができる能力を有する。

《スポーツ推進委員の役割》

- 指導・助言：地域スポーツ大会やスポーツ教室等の運営や指導・助言
- プランナー：各種事業や住民の意識調査、スポーツ振興計画作成への参画
- コーディネーター：各種事業の円滑な運営のための連絡・調整

《スポーツ推進委員の法的位置づけ》

体育指導委員制度は1957年（昭和32年）文部省が地域に密着したスポーツの振興を図るために、都道府県教育委員会に対し「地方スポーツの振興について」の文部事務次官通達を發し、併せて必要な助成措置を行なった。

1961年（昭和36年）スポーツ振興法の制定と同時に、同法第19条において体育指導委員が位置づけられ、市町村教育委員会に非常勤公務員として必置規制がなされた。

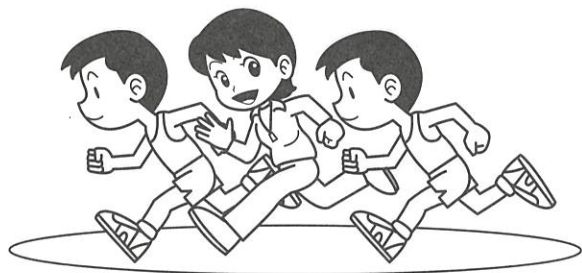
1999年（平成11年）「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が成立したことに伴い、同年8月にスポーツ振興法の一部改定が行なわれ、体育指導委員必置規制の弾力化が図られた。

さらに2011年（平成23年）スポーツ振興法（昭和三十六年法律第百四十一号）が全面改正され、スポーツ基本法が施行された。そこではスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整としての役割が規定上追加され、当該職務をより適切に表す観点から、「スポーツ推進委員」に名称を変更した。

= スポーツ基本法 条文 =

第三十二条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあっては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

- 2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則（特定地方公共団体にあっては、地方公共団体の規則）の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。
- 3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。



ふくしま広域スポーツセンター事業

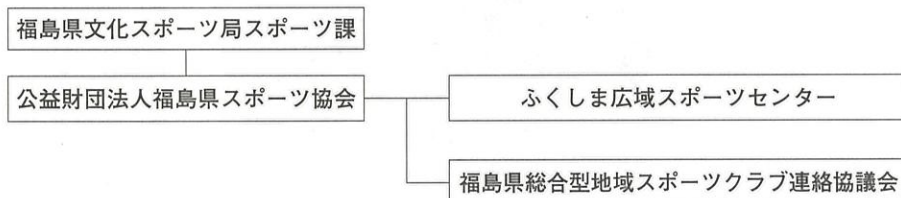
【ミッション】

ふくしま広域スポーツセンターは、県民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動を実践できる「生涯スポーツ社会の実現」を目指すため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着をより一層促進させ、人と地域が活力に満ちあふれる活動ができるよう支援します。

【ビジョン】

- 1 地域の特性を生かした総合型地域スポーツクラブの自主自立に向けた支援を行います。
- 2 各種団体との連携による総合型地域スポーツクラブの活性化を図ります。

【組織図】



【ふくしま広域スポーツセンターの役割】

- 総合型地域スポーツクラブの設立や運営に関する支援
- 総合型地域スポーツクラブのマネジャーや指導者の養成に関する支援
- 広域市町村圏におけるスポーツ振興に関する支援

【総合型地域スポーツクラブとは】

人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブです。

- (1) 子どもから高齢者まで（多世代）
- (2) 様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）
- (3) 初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）

この3つの特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブを言います。

（引用：文部科学省ホームページより）

【福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会】

県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

県内で設立されている78の総合型地域スポーツクラブの内、公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録・認証制度に登録された43の総合型クラブによって構成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。

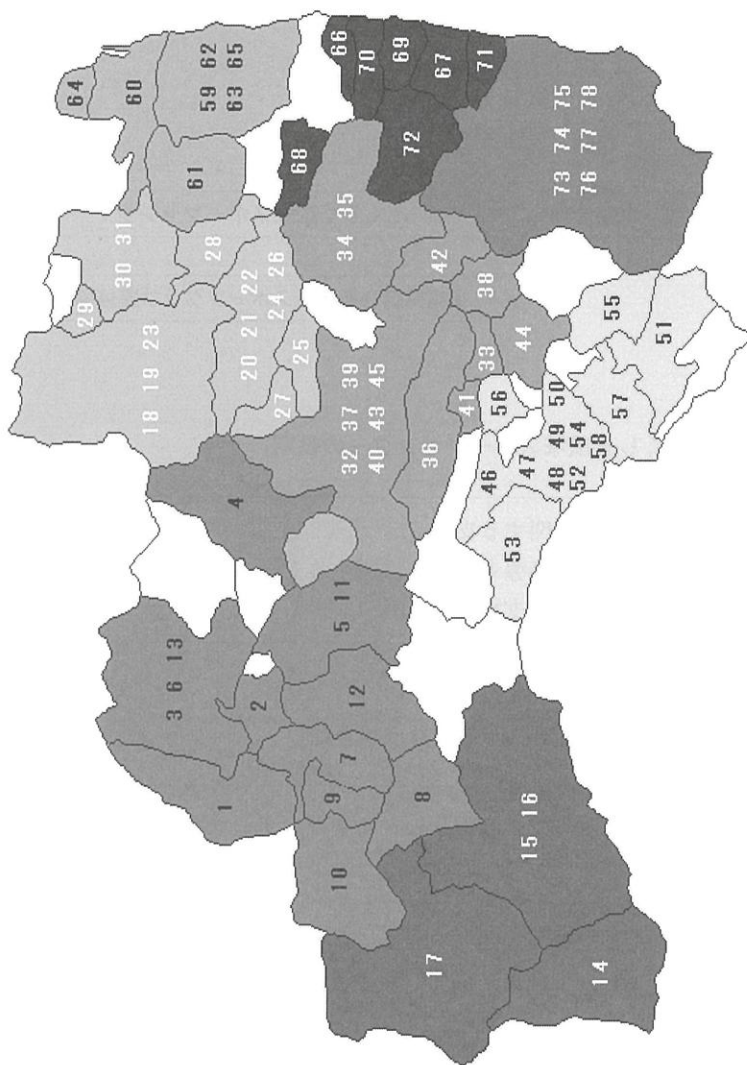
総合型地域スポーツクラブの設立状況について

Fukushima 総合型クラブMap

福島県内59市町村中46市町村に78の総合型地域スポーツクラブが設立しています
(R4.1.1.21現在)

会津地区 (10/13市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
1	西会津スポーツクラブ (西会津町)	H11
2	NPO法人はまなみスポーツクラブ (会津坂下町)	H15
3	NPO法人会津燈籠会 (喜多方市)	H15
4	かりんクラブ (猪苗代町)	H16
5	護国クラブ (会津若松市)	H16
6	NPO法人ひめぎやうくらら (喜多方市)	H19
7	NPO法人赤べこクラブ (会津若松市)	H20
8	NPO法人芋麻倶楽部 (昭和村)	H20
9	みしまクラブ (三島町)	H21
10	金山クラブ (金山町)	H21
11	きたあいつぶクラブ (会津若松市)	H22
12	NPO法人会津美里クラブ (会津美里町)	H23
13	やまとクラブ (喜多方市)	H24

南会津地区 (3/4市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
14	猪枝岐スポーツクラブ (猪枝岐村)	H12
15	NPO法人ひのきスポーツクラブ (南会津町)	H14
16	NPO法人いな夢クラブ (南会津町)	H18
17	NPO法人たたみコミュニティクラブ (只見町)	H19



相馬地区 (4/4市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
59	太田大聖スポーツクラブ (南相馬市)	H13
60	NPO法人そうま中央スポーツクラブ (相馬市)	H14
61	いいでスポーツクラブ (飯館村)	H15
62	NPO法人はらまちスポーツクラブ (南相馬市)	H17
63	浮舟うきうきスポーツクラブ (南相馬市)	H17
64	パインジ しんち (新地町)	H18
65	NPO法人かしま元氣スポーツクラブ (南相馬市)	H20

双葉地区 (7/8市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
66	NPO法人双葉ふれあいクラブ (双葉町)	H12
67	(一社) 相葉町スポーツ協会 (相葉町)	H14
68	かつらおスポーツクラブ (葛尾村)	H14
69	(公社) 葛尾町さくら文化・スポーツ振興公社 (葛尾町)	H14
70	NPO法人おおくまスポーツクラブ (大熊町)	H19
71	NPO法人ひび野みかんクラブ (広野町)	H21
72	かわうちKOMERAKU (川内村)	H22

いわき地区 (1/1市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
73	NPO法人いわきスポーツクラブ (いわき市)	H15
74	泉クラブ (いわき市)	H17
75	いわきマナークラブ (いわき市)	H18
76	NPO法人いわきスポーツクラブ (いわき市)	H19
77	NPO法人いわき・あいさつクラブ (いわき市)	H20
78	総合型地域スポーツクラブTeo (いわき市)	R2

県北地区 (7/8市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
18	NPO法人ユーススポーツクラブ (福島市)	H13
19	NPO法人あづまスポーツクラブ (福島市)	H14
20	(一社) いわき市はまなみスポーツクラブ (二本松市)	H14
21	東和さわやかスポーツクラブ (二本松市)	H15
22	あだちスポーツクラブ (二本松市)	H16
23	NPO法人福島スポーツクラブ (福島市)	H16
24	(一社) にほなまつ城山クラブ (二本松市)	H18
25	もとみやスポーツクラブ (二本松市)	H18
26	吾妻クラブ (二本松市)	H18
27	おおたまたまスポーツクラブ (大玉村)	H20
28	NPO法人かわまらスポーツクラブ (川俣町)	H22
29	パトリオニア (桑折町)	R2
30	磐平クラブ (磐前町)	R2
31	伊達市総合型地域スポーツクラブ (伊達市)	R4

県中地区 (8/12市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
32	大槻ふれあいスポーツクラブ (郡山市)	H13
33	NPO法人たまかや元氣スポーツクラブ (玉川村)	H14
34	滝根いきいきスポーツクラブ (田村市)	H16
35	鬼の里スポーツクラブ (田村市)	H17
36	須賀川大森スポーツクラブ (須賀川市)	H17
37	NPO法人トチ郡山 (郡山市)	H20
38	ひらたスポーツクラブ (平田村)	H20
39	緑ヶ丘スポーツクラブ (郡山市)	H20
40	小原田スポーツクラブ (郡山市)	H20
41	NPO法人かがみいしスポーツクラブ (鎌石町)	H20
42	こまちスポーツクラブ (小野町)	H20
43	NPO法人ESTRELLAS (郡山市)	H21
44	石川ガ行トスポーツクラブ (石川町)	H22
45	VivaKids (郡山市)	H23

県南地区 (6/9市町村)		
No.	クラブ名	設立年度
46	白河ひがしスポーツクラブ (白河市)	H12
47	はなスポーツクラブ (白河町)	H17
48	大沼ふれあいスポーツクラブ (白河市)	H17
49	関山スポーツクラブ (白河市)	H17
50	あけスポーツクラブ (白河市)	H17
51	NPO法人はなわスポーツクラブ (白河町)	H18
52	21スポーツクラブ in しらかわ (白河市)	H19
53	NPO法人西の郷スポーツクラブ (西郷村)	H19
54	VAMOS福島スポーツクラブ (白河市)	H20
55	NPO法人さめがわスポーツクラブ (磐前町)	H22
56	矢吹スポーツクラブ (矢吹町)	H28
57	磐前スポーツクラブ (磐前町)	H28
58	NPO法人そらまき (白河市)	H28

第63回全国スポーツ推進委員研究協議会 滋賀大会 報告

1 趣 旨

全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向性や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

スポーツ庁 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
滋賀県スポーツ推進委員協議会 滋賀県 草津市教育委員会

3 主 管

第63回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島県実行委員会

4 期 日

令和4年11月17日（木）～18日（金）

5 大会テーマ

「わたSHIGA輝く未来のために」～スポーツでつながる喜びを～

6 内 容

(1) 講 演

演 題 「今しかできないこと」

講 師 宇田 秀生 氏（東京2020パラリンピック トライアスロン競技PTS4 銀メダリスト）

(2) シンポジウム

テーマ 「わたSHIGA輝く未来をつくる」

コーディネーター 木村 和彦 氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）

シンポジスト 長積 仁 氏（立命館大学スポーツ健康科学部 教授）

奥田 睦子 氏（京都産業大学現代社会学部 教授）

山本 博一 氏（滋賀県スポーツ推進委員協議会 会長）

(3) 分科会

・第1分科会（YMITアリーナ）

テーマ 「わたSHIGA輝く未来をはぐくむ」

～スポーツを通じたwithコロナでの地域社会の形成～

コーディネーター 長積 仁（立命館大学スポーツ健康科学部 教授）

事例発表① 安富 圭司（徳島県：佐那河内村産業環境課 課長補佐）

事例発表② 阿部 洋介（株式会社ルネサンス 海外事業推進部 次長）

事例発表③ 山崎 隆司（滋賀県：甲賀市スポーツ推進委員会 委員長）

・第2分科会（栗東芸術文化会館さくら）

テーマ 「わたSHIGA輝く未来をともに」

～スポーツを通じた共生社会の実現に向けて～

コーディネーター 奥田 睦子（京都産業大学現代社会学部 教授）

事例発表① 滝下香代子（京都府：綾部市スポーツ推進委員協議会 会長）

事例発表② 別宗 利哉（石川県：GENESIS株式会社 代表取締役）

事例発表③ 川井 滋雄（滋賀県：一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 アドバイザー）

7 参 加 者

全国 2,117名 福島県 9名（6市町村より）



令和4年度福島県スポーツ推進委員研究大会 報告

1 目 的

県内各市町村のスポーツ推進委員が一堂に会し、それぞれの地域におけるスポーツの実践活動及び研究の成果を発表・協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

いわき市

4 後 援

福島県

5 主 管

いわき市スポーツ推進委員会

6 期 日

令和4年10月14日（金）～10月15日（土） 2日間

7 会 場

パレスいわや いわき市立総合体育館 21世紀の森公園

8 参 加 者

スポーツ推進委員及び市町村教育委員会スポーツ担当者 219名

9 内 容

(1) 講 演

講 師：株式会社いわきスポーツクラブ 代表取締役 大倉 智 氏

演 題：「スポーツによるひとづくり・まちづくり」

(2) シンポジウム

テ ー マ：「スポーツボランティアの普及と発展に向けて」

コーディネーター：第14回いわきサンシャインマラソン実行委員会委員

シンポジスト：NPO法人うつくしまスポーツルーターズ事務局長

シンポジスト：スポーツによる人・まちづくり推進協議会幹事

シンポジスト：ツールド・いわき2022実行委員会事務局長代理

大関 貴久 氏

齋藤 道子 氏

田子 英彦 氏

荒川 貴章 氏

(3) 実技研修

① カローリング

講師：いわき市スポーツ推進委員会

② スポーツチャンバラ

講師：いわき市スポーツチャンバラ協会

③ ファミリーゴルフ

講師：特定非営利活動法人いわきFスポーツクラブ



第31回福島県女性スポーツ推進委員研修会 報告

1 目 的

県内の女性スポーツ推進委員が幼児及び女性や高齢者向けの実技指導のあり方について研修するとともに、それぞれの地域におけるスポーツの実践活動及び研究の成果を発表し合うことにより、資質の向上を図り生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

福島県 郡山市

4 期 日

令和4年6月3日（金） 13時00分～16時30分

5 会 場

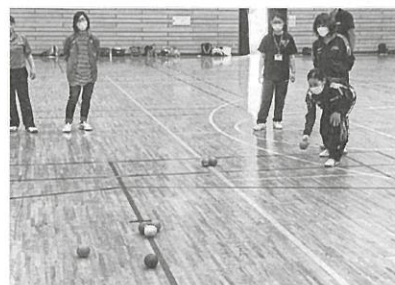
郡山市安積総合学習センター 体育館

6 参 加 者

各市町村の女性スポーツ推進委員及び事務局担当者
その他希望するスポーツ推進委員 計88名

7 研修内容

講義 演題：「スポーツ導入段階の指導～パラスポーツの視点から～」
実技 内容：「ボッチャ」
講師：日本ボッチャ協会強化指導部長 村上光輝 氏



令和4年度福島県新任スポーツ推進委員研修会 報告

1 目 的

県内の新任スポーツ推進委員が、スポーツ推進委員としての役割及び生涯スポーツの指導に関する基礎理論及び実技指導を研修することにより、資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

福島県 郡山市

4 期 日

令和4年6月23日（木） 13時00分～16時20分

5 会 場

郡山市安積総合学習センター 集会室

6 参加者

令和4年度に委嘱された各市町村の新任スポーツ推進委員及び本研修会未受講者
各市町村スポーツ推進委員会事務局担当者 計61名

7 研修内容

(1) 講義Ⅰ 「スポーツ推進委員の役割と今後の在り方について」

講師：スポーツ推進委員リーダー

薄井 崇 氏

(2) 講義Ⅱ 「スポーツボランティア初心者研修会」

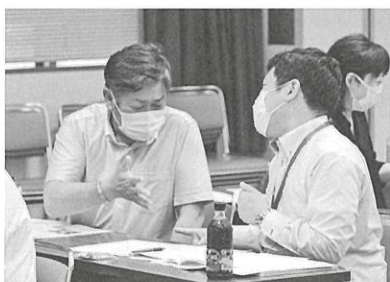
講師：日本スポーツボランティアネットワーク（JSVN）認定講師

（一社）東京都レクリエーション協会 参与

東京都レクリエーション・コーディネーター 飯田 弘 氏

NPO法人うつくしまスポーツルーターズ事務局長

齋藤 道子 氏



全国研究協議会・東北地区研修会・県研究大会開催予定地一覧

年 度	全 国	東 北	県	備 考
令和 5 年度	青 森 県	岩 手 県	喜 多 方 市	
令和 6 年度	宮 崎 県	宮 城 県	白 河 市	
令和 7 年度	長 野 県	福 島 県	田 村 市	※東北
令和 8 年度	群 馬 県	山 形 県	相 馬 市	
令和 9 年度	島 根 県	秋 田 県	伊 達 市	
令和 10 年度	奈 良 県	青 森 県	本 宮 市	
令和 11 年度		岩 手 県	福 島 市	

※令和7年度東北大会開催年度については、田村市固定とし、相馬市を令和8年度開催とする。

【県研究大会開催地ローテーション】

福島市→郡山市→会津若松市→南相馬市→二本松市→須賀川市→いわき市→喜多方市
→白河市→相馬市→田村市→伊達市→本宮市（※ 震災の影響等により変更）

分科会発表割当表

年度 支部	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
福 島				東 北 県 ①			
伊 達	県 ②				県 ①		
安 達		県 ②				県 ①	
郡 山			県 ②				県 ①
岩 瀬				県 ②			
石 川	県 ①				県 ②		
田 村		県 ①				県 ②	
西 白 河			県 ①				県 ②
東 白 川				県 ①			
南 会 津	県 ②				県 ①		
北 会 津		県 ②				県 ①	
耶 麻			県 ②				県 ①
両 沼				県 ②			
い わ き	県 ①				県 ②		
双 葉		県 ①				県 ②	
相 馬			県 ①				県 ②

※ 県研究大会並びに東北研修会開催における分科会発表割当表

- 内の数字は「第○分科会」の数字を表す。
- 東北研修会で発表がある場合は、候補支部の中でテーマに適した活動をしている市町村を役員会で決める。
- ローテーションは事業によって変更する場合がある。

令和4年度福島県スポーツ推進委員協議会役員名簿

役 職	支部名等	役 員 氏 名	所 属	役 職	支部名等	役 員 氏 名	所 属
顧 問		山 崎 光 彦	元 会 長	理 事	北 会 津	遠 藤 仁	会津若松市
		五十嵐 啓 介	前 会 長		耶 麻	佐 藤 智 之	北 塩 原 村
		滝 田 勝 彦	ス ポ ー ツ 課		両 沼	藤 田 一 実	柳 津 町
会 長		松 田 義	福 島 市		南 会 津	平 野 崇 之	檜 枝 岐 村
副会長	県 中	平 栗 俊 一	須賀川市		相 馬	武 島 昭 良	相 馬 市
	県 南	大 塚 恭 一	泉 崎 村		双 葉	渋谷 容 寿	双 葉 町
	会 津	伊 藤 富士江	会津若松市		い わ き	遠 藤 邦 男	い わ き 市
	南 会 津	大 橋 通	南会津町		会 長 指 名	県北 氏 家 美代子	川 俣 町
	相 双	小 屋 進	南相馬市			県中 佐 野 光 江	郡 山 市
	い わ き	斉 藤 祐 二	いわき市			県南 邊 見 弘 子	白 河 市
	女性委員代表	熊ヶ谷 頼 子	南会津町			会津 上 野 好 恵	西会津町
						南会津 熊ヶ谷 頼 子	南会津町
理事長	福 島	作 田 謙太郎	福 島 市			相双 森 幸 子	相 馬 市
理 事	伊 達	石 井 忠	伊 達 市			いわき 奥 田 和 子	い わ き 市
	安 達	伊 藤 賢 一	二本松市			文ス局 飯 塚 悟	ス ポ ー ツ 課
	郡 山	三本木 正 光	郡 山 市	監 事	中 通 り	高 橋 ひろ子	西 郷 村
	岩 瀬	石 井 勝 博	天 栄 村		会 津	星 野 幸 子	会津美里町
	石 川	小 林 典 子	石 川 町		浜 通 り	渋谷 容 寿	双 葉 町
	田 村	三 瓶 清 友	三 春 町	幹 事	会 長 指 名	多 田 慎之介	ス ポ ー ツ 課
	西 白 河	須 永 敏 行	白 河 市			今 野 翔 太	ス ポ ー ツ 課
	東 白 川	宗 田 貴	鮫 川 村				

【支部女性委員代表】

地 区	支部名	氏 名	所 属	役 員 等	備 考
県 北	福 島	氏 家 美代子	川 俣 町	地区代表（理事）	
	伊 達	千 葉 美 知	伊 達 市		
	安 達	大 内 友 子	二本松市		
県 中	郡 山	佐 野 光 江	郡 山 市	地区代表（理事）	
	岩 瀬	佐 藤 久美子	須賀川市		
	石 川	矢 吹 タミイ	石 川 町		
	田 村	橋 本 由香里	三 春 町		
県 南	西白河	邊 見 弘 子	白 河 市	地区代表（理事）	
	東白川	石 川 奈 保	塙 町		
会 津	北会津	松 村 清 子	会津若松市		
	耶 麻	上 野 好 恵	西会津町	地区代表（理事）	
	両 沼	渡 部 秋 子	金 山 町		
南会津	南会津	熊ヶ谷 頼 子	南会津町	地区代表（理事）	
相 双	相 馬	森 幸 子	相 馬 市	地区代表（理事）	
	双 葉	菊 池 直 子	双 葉 町		
いわき	いわき	奥 田 和 子	い わ き 市	地区代表（理事）	

令和4年度各支部スポーツ推進委員協議会事務局一覧

令和5年2月末日現在

地区	協議会・代表者名	事務担当者名	事務局住所等
北 	福島支部スポーツ推進委員協議会 会 長 松田 義(福島市) 代表女性委員 氏家美代子(川俣町)	矢野恵理子	〒960-8601 福島市五老内町3-1 T E L 024-525-3786 〔福島市市民・文化スポーツ部文化スポーツ振興室スポーツ振興課〕 F A X 024-536-2128
	伊達地方スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 石井 忠(伊達市) 代表女性委員 千葉 美和(伊達市)	神保 伸朗	〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 T E L 024-573-5709 〔伊達市教育委員会教育部生涯学習課〕 F A X 024-573-5892
	安達地方スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 伊藤 賢一(二本松市) 代表女性委員 大内 友子(二本松市)	渡辺 裕子	〒964-0937 二本松市榎戸一丁目92 T E L 0243-62-7067 〔二本松市教育委員会生涯学習課スポーツ推進係〕 F A X 0243-22-7171
中 	郡山市スポーツ推進委員会 会 長 三本木正光(郡山市) 代表女性委員 佐野 光江(郡山市)	水野 奨也	〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7 T E L 024-924-3441 〔郡山市文化スポーツ部スポーツ振興課〕 F A X 024-924-0059
	岩瀬管内スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 平栗 俊一(須賀川市) 代表女性委員 佐藤久美子(須賀川市)	渡辺 裕太	〒962-8601 須賀川市八幡町135 T E L 0248-88-9174 〔須賀川市文化交流部生涯学習スポーツ課スポーツ振興係〕 F A X 0248-94-4563
	石川管内スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 小林 典子(石川町) 代表女性委員 矢吹タミイ(石川町)	藤島 祐摩	〒963-7863 石川町字渡里沢296-8 T E L 0247-26-8038 〔石川町教育委員会生涯学習課スポーツ振興係〕 F A X 0247-26-8155
	田村地方スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 三瓶 清友(三春町) 代表女性委員 橋本由香里(三春町)	佐久間正浩	〒963-7759 田村郡三春町字大町191 T E L 0247-62-3837 〔三春町教育委員会生涯学習課〕 F A X 0247-62-4727
	西白河地方スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 高橋ひろ子(西郷村) 代表女性委員 邊見 弘子(白河市)	山崎 仁宏	〒961-8091 西白河郡西郷村大字熊倉字折口原76-1 T E L 0248-25-2371 〔西郷村教育委員会生涯学習課体育振興係〕 F A X 0248-25-2756
南 	東白川町村スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 宗田 貴(鮫川村) 代表女性委員 石川 奈保(塙 町)	中川西伯仁	〒963-8401 鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作128 T E L 0247-49-3151 〔鮫川村教育委員会教育課生涯学習係〕 F A X 0247-49-3152
	北会津管内スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 遠藤 仁(会津若松市) 代表女性委員 松村 清子(会津若松市)	渡部 静菜	〒965-0873 会津若松市追手町2番41号 T E L 0242-39-1306 〔会津若松市教育委員会スポーツ推進課〕 F A X 0242-39-1462
	耶麻地方市町村スポーツ推進委員協議会 会 長 津瀧 悟(喜多方市) 代表女性委員 上野 好恵(西会津町)	栗田 美穂	〒966-8601 喜多方市字御清水東7244-2 T E L 0241-24-5327 〔喜多方市教育委員会生涯学習課スポーツ振興室〕 F A X 0241-25-7075
津 	両沼地区スポーツ推進委員協議会 会 長 藤田 一実(柳津町) 代表女性委員 渡部 秋子(金山町)	増井 我久	〒969-7201 河沼郡柳津町大字柳津字下平乙242-2 T E L 0241-42-3511 〔柳津町教育委員会教育課生涯学習係〕 F A X 0241-42-3591
	南会津地区スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 大橋 通(南会津町) 代表女性委員 熊ヶ谷頼子(南会津町)	星 優南	〒967-0004 南会津町田島字宮本東22 T E L 0241-62-5511 〔南会津町教育委員会生涯学習課〕 F A X 0241-62-6307
相 	相馬地方スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 小屋 進(南相馬市) 代表女性委員 森 幸子(相馬市)	末永 亨	〒979-2392 南相馬市鹿島区西町一丁目1 T E L 0244-46-2124 〔南相馬市市民生活部スポーツ推進課〕 F A X 0244-46-5684
	双葉支部スポーツ推進委員連絡協議会 会 長 瀧 幹一(浪江町) 代表女性委員 菊池 直子(双葉町)	今野 賢太	〒979-1521 双葉郡浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2 T E L 0240-34-3941 〔浪江町教育委員会生涯学習係〕 F A X 0240-35-5885
いわき	いわき市スポーツ推進委員会 会 長 斉藤 祐二(いわき市) 代表女性委員 奥田 和子(いわき市)	松崎 和己	〒970-8686 いわき市平字梅本21 T E L 0246-22-7553 〔いわき市観光文化スポーツ部スポーツ振興課〕 F A X 0246-22-1285

令和4年度市町村スポーツ推進委員会事務局一覧

令和4年2月末日現在

支部・市町村名			代表者名	事務担当者名	事務局住所等
福島	1	福島市	松田 義	矢野 恵理子	〒960-8601 福島市五老内町3-1 福島市市民・文化スポーツ部文化スポーツ振興室スポーツ振興課 TEL 024 (525) 3786 FAX 024 (536) 2128
	2	川俣町	三浦 正一郎	斎藤 誠	〒960-1405 川俣町大字東福沢字万所内山2-3 川俣町教育委員会生涯学習課保健体育係(川俣町体育館) 024 (565) 3931 FAX 024 (565) 3932
伊達	3	伊達市	石井 忠	神保 伸朗	〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 伊達市教育委員会教育部生涯学習課 TEL 024 (573) 5709 FAX 024 (573) 5892
	4	桑折町	塩谷 靖夫	谷津 朋征	〒969-1692 桑折町大字谷地字道下22-7 桑折町教育委員会教育文化課 TEL 024 (582) 2403 FAX 024 (582) 2470
	5	国見町	澁谷 陽子	鈴木 俊大	〒969-1761 国見町大字藤田字観月台15 国見町教育委員会生涯学習課 TEL 024 (585) 2676 FAX 024 (585) 2707
安達	6	二本松市	伊藤 賢一	渡辺 裕子	〒964-0937 二本松市榎戸一丁目92番地 二本松市教育委員会生涯学習課内 二本松市教育委員会生涯学習課スポーツ推進係 TEL 0243 (62) 7067 FAX 0243 (22) 7171
	7	大玉村	佐原 孝男	牧野 敏雄	〒969-1302 大玉村玉井字西庵183 大玉村教育委員会生涯学習課社会体育係 TEL 0243 (48) 3139 FAX 0243 (48) 3493
	8	本宮市	菅野 三郎	柴崎 慶太郎	〒969-1101 本宮市高木字黒作1番地総合体育館内 本宮市教育委員会教育部生涯学習センター TEL 0243 (33) 2611 FAX 0243 (33) 4488
郡山	9	郡山市	三本木 正光	水野 奨也	〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7 郡山市文化スポーツ部スポーツ振興課 TEL 024 (924) 3441 FAX 024 (924) 0059
岩瀬	10	須賀川市	平栗 俊一	渡辺 裕太	〒962-8601 須賀川市八幡町135 須賀川市文化交流部生涯学習スポーツ課スポーツ振興係 TEL 0248 (88) 9174 FAX 0248 (94) 4563
	11	鏡石町	小林 宏次	北畠 正彦	〒969-0404 鏡石町旭町159(鏡石町公民館内) 鏡石町教育委員会教育課生涯学習グループ TEL 0248 (62) 2031 FAX 0248 (62) 2190
	12	天栄村	石井 勝博	根本 容作	〒962-0503 天栄村大字下松本字原畑66 天栄村生涯学習センター内 天栄村教育委員会教育課生涯学習係 TEL 0248 (82) 2504 FAX 0248 (82) 2127
石川	13	石川町	小林 典子	藤島 祐摩	〒963-7863 石川町字渡里沢296-8 石川町教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 TEL 0247 (26) 8038 FAX 0247 (26) 8155
	14	玉川村	石森 四郎一	神尾 健斗	〒963-6312 玉川村大字小高字大谷地71 玉川村公民館 TEL 0247 (57) 4632 FAX 0247 (57) 4686
	15	平田村	佐藤 俊光	渡辺 幸男	〒963-8205 平田村大字永田字切田158-5 教育課社会体育係(平田村中央公民館) TEL 0247 (55) 2131 FAX 0247 (55) 3367
	16	浅川町	濱田 猛	角田 寛典	〒963-6204 浅川町大字浅川字背戸谷地143-5 浅川町教育委員会教育課社会教育係 TEL 0247 (36) 2134 FAX 0247 (36) 4805
	17	古殿町	佐藤 弘信	緑川 孝之	〒963-8304 古殿町大字松川字横川235 古殿町公民館 TEL 0247 (53) 2305 FAX 0247 (53) 2500
田村	18	田村市	舞木 和弘	松崎 久幸	〒963-4393 田村市船引町船引字畑添76-2 田村市教育委員会教育部生涯学習課スポーツ振興係 TEL 0247 (81) 1215 FAX 0247 (81) 1228
	19	三春町	三瓶 清友	佐久間 正浩	〒963-7759 三春町字大町191 三春町教育委員会生涯学習課社会体育グループ TEL 0247 (62) 3837 FAX 0247 (62) 4727
	20	小野町	大楽 登	清野 昭雄	〒963-3401 小野町大字小野新町字美売65-1 小野町教育委員会教育課町民体育館 TEL 0247 (72) 2518 FAX 0247 (72) 6362

支部・市町村名		代表者名	事務担当者名	事務局住所等
西 白 河	21	白河市 須永敏行	齋藤 瑤	〒961-8602 白河市八幡小路7-1 白河市教育委員会生涯学習スポーツ課 TEL 0248 (22) 1111 FAX 0248 (22) 1143
	22	西郷村 高橋ひろ子	山崎 仁宏	〒961-8501 西郷村大字熊倉字折口原76-1 西郷村教育委員会生涯学習課 TEL 0248 (25) 2371 FAX 0248 (25) 2756
	23	中島村 野木俊朗	木村 修	〒961-0102 中島村大字滑津字二ツ山28-10 中島村教育委員会生涯学習課 TEL 0248 (52) 2503 FAX 0248 (52) 3005
	24	矢吹町 小針栄子	岡田 昌之	〒969-0213 矢吹町本町165 矢吹町教育委員会教育振興課生涯学習係 TEL 0248 (42) 2829 FAX 0248 (42) 2587
	25	泉崎村 大塚恭一	熊田 有真	〒969-0101 泉崎村大字泉崎字白石山3-1 泉崎村教育委員会教育課生涯学習係 TEL 0248 (53) 3775 FAX 0248 (53) 3870
東 白 川	26	棚倉町 緑川浩一	佐川 久永	〒963-6123 棚倉町大字関口字一本松58 棚倉町教育委員会生涯学習課体育振興係 TEL 0247 (33) 0111 FAX 0247 (33) 9611
	27	塙町 古橋博	藤田 和成	〒963-5405 塙町大字塙字桜木町80 塙町教育委員会生涯学習課生涯スポーツ係 TEL 0247 (43) 2644 FAX 0247 (43) 1883
	28	矢祭町 本多春子	小林 亮	〒963-5118 矢祭町大字東館字石田25 矢祭町教育委員会教育課生涯学習グループ TEL 0247 (46) 2202 FAX 0247 (46) 2202
	29	鮫川村 宗田貴	中川西 伯仁	〒963-8401 鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作128 鮫川村教育委員会教育課生涯学習係 TEL 0247 (49) 3151 FAX 0247 (49) 3152
北 会 津	30	会津若松市 遠藤仁	渡部 静菜	〒965-0873 会津若松市追手町2-41 会津若松市教育委員会スポーツ推進課 TEL 0242 (39) 1306 FAX 0242 (39) 1462
	31	磐梯町 石部正浩	新國 兼也	〒969-3301 磐梯町大字磐梯字仁渡1018 磐梯町教育委員会教育課生涯学習係 TEL 0242 (73) 2017 FAX 0242 (73) 2449
	32	猪苗代町 磯川正雄	根津 秀章	〒969-3123 猪苗代町字鶴田141-1 猪苗代町体験交流館内 猪苗代町教育委員会生涯学習課社会体育係 TEL 0242 (72) 0180 FAX 0242 (62) 5350
耶 麻	33	喜多方市 津瀧悟	栗田 美穂	〒966-8601 喜多方市字御清水東7244-2 喜多方市教育委員会生涯学習課スポーツ振興室 TEL 0241 (24) 5327 FAX 0241 (25) 7075
	34	北塩原村 佐藤智之	棚木 岳斗	〒966-0402 北塩原村大字大塩字下六郎屋敷2134 北塩原村教育委員会公民館班 TEL 0241 (23) 5236 FAX 0241 (33) 2522
	35	西会津町 長谷川辰男	鈴木 志寿子	〒969-4406 西会津町野沢字原町乙2234-1 西会津町教育委員会生涯学習課 TEL 0241 (45) 3244 FAX 0241 (45) 3470
両 沼	36	会津坂下町 小池弘輝	陽田 志遠	〒969-6545 会津坂下町字五反田1310-3 会津坂下町教育委員会教育課生涯学習班 TEL 0242 (83) 3010 FAX 0242 (83) 4498
	37	湯川村 五十嵐幸廣	高木 類	〒969-3544 湯川村大字清水田字長瀬17 湯川村教育委員会社会教育係 TEL 0241 (27) 4107 FAX 0241 (27) 8826
	38	柳津町 藤田一実	増井 我久	〒969-7201 柳津町大字柳津字下平242-2 柳津町教育委員会教育課生涯学習係 TEL 0241 (42) 3511 FAX 0241 (42) 3591
	39	会津美里町 星野幸子	木崎 雄策	〒969-6292 会津美里町字新布才地1 会津美里町教育委員会生涯学習課 TEL 0242 (54) 2368 FAX 0242 (54) 5642
	40	三島町 星孝和	中丸 拓	〒969-7511 三島町大字宮下字宮下350 三島町教育委員会生涯学習課生涯学習係 TEL 0241 (48) 5599 FAX 0241 (48) 5544
	41	金山町 雪下明	鈴木 裕樹	〒968-0011 金山町大字川口字谷地393 金山町教育委員会 TEL 0241 (54) 5361 FAX 0241 (54) 5377
	42	昭和村 五十嵐道夫	渡辺 智子	〒968-0103 昭和村大字下中津川字住吉415 昭和村教育委員会 TEL 0241 (57) 2114 FAX 0241 (58) 1010

支部・市町村名		代表者名	事務担当者名	事務局住所等
南 会 津	43	南会津町 大橋 通	星 優 南	〒967-0004 南会津町田島字宮本東22 南会津町教育委員会生涯学習課 TEL 0241 (62) 5511 FAX 0241 (62) 6307
	44	下郷町 玉川 森 男	吉 村 周 平	〒969-5345 下郷町大字塩生字大石1000 下郷町教育委員会社会教育係 TEL 0241 (69) 1168 FAX 0241 (69) 1167
	45	檜枝岐村 平野 崇之	平野 暁 史	〒967-0525 檜枝岐村下ノ原887-2 檜枝岐村教育委員会 TEL 0241 (75) 2342 FAX 0241 (75) 2300
	46	只見町 佐藤 隆 一	仲 丸 和 宏	〒968-0421 只見町大字只見字町下2591-30 只見町教育委員会生涯学習係 TEL 0241 (82) 5320 FAX 0241 (82) 2337
相 馬	47	相馬市 武島 昭 良	荒 木 秀 司	〒976-8601 相馬市中村字北町63-3 相馬市教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 TEL 0244 (37) 2278 FAX 0244 (37) 2617
	48	新地町 菅野 孝 雄	高 崎 浩 孝	〒979-2702 新地町谷地小屋樋掛田40-1 新地町教育委員会教育総務課生涯学習係 TEL 0244 (62) 2085 FAX 0244 (62) 2172
	49	南相馬市 小 屋 進	末 永 亨	〒979-2392 南相馬市鹿島区西町一丁目1 南相馬市市民生活部スポーツ推進課 TEL 0244 (46) 2124 FAX 0244 (46) 5684
	50	飯館村 大 内 亮	林 良 蔵	〒960-1803 飯館村伊丹沢字山田380 飯館村教育委員会生涯学習課 TEL 0244 (42) 0152 FAX 0244 (42) 1300
双 葉	51	浪江町 瀧 幹 一	今 野 賢 太	〒979-1521 浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2 浪江町教育委員会事務局生涯学習係 TEL 0240 (34) 3941 FAX 0240 (35) 5885
	52	葛尾村 松 本 智	太 田 順一郎	〒979-1602 葛尾村大字落合字落合16 葛尾村教育委員会社会教育係 TEL 0240 (29) 2008 FAX 0240 (29) 2123
	53	双葉町 渋谷 容 寿	田中アリシャ	〒979-1495 双葉町大字長塚字町西73-4 双葉町教育委員会生涯学習課 TEL 0240 (33) 0206 FAX 0240 (33) 0207
	54	大熊町 千葉 幸 生	喜 浦 遊	〒979-1306 大熊町大字大川原字南平1717 大熊町教育委員会教育総務課 TEL 0240 (23) 7194 FAX 0240 (23) 7846
	55	富岡町 鈴木 重 利	高 橋 優 斗	〒979-1151 富岡町大字本岡字王塚622-1 富岡町教育委員会生涯学習課生涯学習係 TEL 0240 (22) 2626 FAX 0240 (22) 5059
	56	川内村 遠 藤 和 之	横 田 善 誉	〒979-1201 川内村大字上川内字小山平15 川内村教育委員会教育課生涯学習係 TEL 0240 (38) 3806 FAX 0240 (38) 3807
	57	広野町 根 本 敏 法	鯨 岡 圭 介	〒979-0408 広野町中央台1-1 広野町教育委員会生涯学習課 TEL 0240 (27) 3244 FAX 0240 (27) 2015
	58	楡葉町 猪 狩 慶 彦	手 島 健 祐	〒979-0604 楡葉町大字北田字鐘突堂5-4 楡葉町教育委員会生涯まなび課 TEL 0240 (25) 2492 FAX 0240 (25) 4703
い わ き	59	いわき市 斉 藤 祐 二	松 崎 和 己	〒970-8686 いわき市平字梅本21 いわき市観光文化スポーツ部スポーツ振興課 TEL 0246 (22) 7553 FAX 0246 (22) 1285

各種表彰受賞者一覧

1 福島県スポーツ推進委員協議会功労者表彰

年度 支部	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度
福 島	飯久保 正 克	渡 辺 市 松	佐 藤 政 一	大 内 末次郎	武 田 守	細 川 健 菅 野 清 菅 野 勇 長谷川 義三	笠 上 茂 原 野 由 佐 藤 和 佐 藤 秀 斎 藤 敏 渡 辺 文 人 見 規 阿 部 貞 井 上 安 佐 藤 正
伊 達	佐 藤 元 一	本 望 八 郎	菱 沼 正 久	本 田 泰 治	半 谷 政 八		
安 達	宮 崎 徳 治	高 野 与四郎	伊 藤 広	騎 西 五 郎	宇 井 正 三	松 本 和 男	
郡 山	国 分 伝 三	先 崎 幸 雄	杉 山 義之助	佐 藤 裕 次	三 浦 好 松	伊 藤 光 渡 辺 彰 遠 藤 輝 今 泉 直	
岩 瀬	吉 田 平 作		野 川 正 夫		細 谷 光		
石 川	西 牧 晋 二	松 山 六 郎		富 岡 正 夫	前 田 三 男	小 木 豊 治	
田 村	根 本 友 一		壁 谷 之 夫	白 石 徳 文	宗 像 善 一	吉 田 実 桑 原 俊 也	吉 田 誠 藤 二 郎
西白河	鈴 木 五 郎	藤 田 善一郎	真 船 真 司	大 竹 衛 雄	東 条 覚		山 浦 竹 鈴 木 之 節 助 夫
東白川	金 沢 善 次		鈴 木 正 章			富 永 保 利	佐々木 宇佐一
南会津	星 好 久	星 好 雄	目 黒 辰次郎	五十嵐 謙一郎	菅 家 哲 郎	星 恒 橘 宣	鈴 木 平 鈴 木 慎 六 角 介 清 水 謙 文 夫
北会津	佐 藤 鉄 雄	高 橋 直 幸	永 山 義 男			小 沢 昭 寿	上 野 伝 衛
耶 麻			遠 藤 久 雄	上 野 市 男	花 見 兵 衛	伊 藤 栄 次	
両 沼	小 森 要		横 山 実			赤 井 隆 志	栗 城 嘉 伊 藤 信 正
いわき		鈴 木 一 平			藤 井 民 二	草 野 仁	足 立 三 朗
双 葉	斎 藤 栄	斎 藤 学	三 瓶 芳 男	松 本 正 雄	渡 辺 悟	高 木 昌 松 本 正 棋 雄	宮 代 良 飯 塚 国 相 良 正 馬 場 秀
相 馬	三本松 喜代見	高 倉 秀 雄	吉 田 孔 彦	大 渡 喜 平	森 正 之	小 林 重 信	

年度 支部	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度
福 島	佐々木 幸一郎 乙 部 新 勝	清 池 野 清 野 田 省 男 菅 野 哲 男	蔵 吾 男 後 東 海 林 勝 夫	安 橋 田 浩二 佐 藤 金 一 藤 藤 孝 孝	後 斎 藤 栄 一 藤 藤 兵 衛 菅 野 文 男	横 江 政 一 渡 辺 政 勝 吉 田 基 徳	渡 辺 正 志 菅 野 不 彦 松 浦 源 吉	田 島 重 夫 渡 辺 浩 蔵 橘 渡 幸 弘
伊 達	海老沼 英彦 佐 藤 秋 米	豊 菅 野 斎 藤 節 男	八 卷 忠 一 安 田 満 雄	渡 辺 正 盛 藤 藤 孝 孝	橘 菅 野 義 治 菅 野 方 善			佐々木 俊 善 杉 山 一 郎
安 達	渡 辺 秋 米 高 田 善 五郎	野 諸 大 村 尻 橋 利 哉	国 分 光 一 分 本 伝 吉	佐 藤 孝 孝 藤 藤 孝 孝	渡 辺 一 夫 渡 辺 一 郎	吉 井 フジ 木 田 宏 司	遠 藤 伊 子 橋 本 節 子	井 塚 邦 臣 武 田 貞 司
郡 山	山 佐 藤 勝 阿 部 廣 雄	阪 路 光 鉄 真 島 夫	椿 原 岩 夫	内 荒 川 繁 荒 川 主 司	佐 藤 孝 孝 藤 藤 孝 孝	吉 井 フジ 木 田 宏 司	遠 藤 伊 子 橋 本 節 子	井 塚 邦 臣 武 田 貞 司
岩 瀬				鈴 木 規 之	山 野 辺 繁	山 田 トミ子	中 島 福 信	川 緑 近 進
石 川								
田 村	先 崎 通 雄 鈴 木 俊 祐	新 白 田 松 岩 昌 雄	鈴 木 悦 夫		石 井 新 八郎		渡 辺 普 徳	矢 崎 高 遠 藤 康 敬
西白河	中 村 兵 恵	遠 富 藤 永 和 男	鈴 渡 理 平 木 辺 満 男	須 藤 完 博 本 藤 次	根 本 重 勝	角 佐 敏 勝 田 藤 進		松 本 広 吉
東白川	松 本 栄 吉	古 市 貫 一郎	草 野 吉 四郎 佐 川 光 義	後 藤 正 明 藤 方 利 夫	江 黒 功 一 吉 田 博 弘	矢 内 雅 太 野 中 二 郎	小 室 知 安 稲 垣 長 一郎	原 佐 侑 作 藤 家 邦 男
南会津	赤 塚 忠 工 室 井 悦 男	柿 小 間 義 美 林 悌 助	平 野 理 恒	大 野 竹 中	橘 室 井 賢	長 谷 川 次 横 山 一郎	目 黒 長 一郎	菅 星 久 之
北会津	星 護 郎			家 田 鶴 雄	鬼 多 見 賢		浅 川 雅 典	太 田 由 幸
耶 麻	佐 藤 幹 雄	和 久 井 正 己	岩 下 スミ子	広 伊 田 真 藤 藤 啓 正	小 沢 善 重 沢 崎 家 重	鎌 上 昌 夫 田 塚 昌 夫	物 江 幸 一 内 堀 清 政	原 加 藤 源 新 井 田 六 横 山 五 郎
両 沼	渡 部 忍 久 五十嵐 久	弓 田 道 雄	志 田 正 美	萩 原 三 雄	草 山 有 光	大 和 一 信 和 田 信 郎	山 細 小 深 小 深 谷 常	高 桑 阿 佐 森 阿 佐 子
いわき	櫛 田 昌 男	西 村 哲 純	白 土 四 郎	萩 原 三 雄	草 山 有 光	大 和 一 信 和 田 信 郎	山 細 小 深 小 深 谷 常	高 桑 阿 佐 森 阿 佐 子
双 葉		佐 藤 英 人	遠 藤 隆 雄 鈴 木 伸 一郎	大 津 戸 弘 大 渡 辺 秀 夫	茂 興 夫 重	松 吉 本 義 吉 田 村 宣	青 大 和 田 洋 大 和 田 明	藤 芳 信 一
相 馬	郡 杉 内 芳 一 内 光 雄	吉 中 野 泰 博 田 野 宣 見	豊 林 之 進	大 渡 辺 秀 夫	山 田 春 隆	清 門 雄 一		

年度 支部	平成3年度				平成4年度				平成5年度				平成6年度				平成7年度				平成8年度				平成9年度				平成10年度			
福島	鈴木一雄	小大四森板遠	島内家口倉藤	衛直男武治雄	黒田	澤内	文政	夫二	高佐尾油穴阿近阿山	橋藤形井戸部野口	光幸常紘正陸正	子親勲雄男信吉雄典	遠安紺高斎	藤田野橋藤	昌仙義惠美智	尚松人子	菅渡小朝	野邊針倉	喜久弘孝	江享嗣男	白柴大河	坂田内	英定雄	雄広一	山瀬三新	崎戸浦國	光邦光幸	彦弘雄信				
伊達	村上菅八	上井野巻	幸秀	夫忠寛敏	菅大阿	野橋部	武千松	巳代次	浅古野引白丹永赤斎	野内崎地井治井間藤	清若幹伝洋礼邦	靖行夫享夫郎子子彦	進章博子子子	佐今斎	藤井藤	春賢澄	男一男	菅菅	野野	久盛	子栄	川嶋鈴寺	名原木島	静康マサ	子浩子武	菅寺狗	野島飼	幸次道	一男博			
安達	菅佐安佐	野藤斎間	彦孝	敬一之太	渡渡佐	辺辺原	富孝	茂夫男	伊安角	東斎田	義久正	雄良昭		穴遠武高	戸藤田島	一政吉貞	郎幸雄邦	佐菅菅宗菅安斎	藤野野形野藤藤	彰貞清和一康	男雄敬治俊一雄	鈴杉野伊佐菅	木内地藤藤野	長貞藤賢保正	右夫夫一雄信	笹川博之						
郡山	国星鈴伊長橋	分木藤川本	弘政昭輝アイ	明志夫一イ子	落合			薫	小松吉江熊増	林崎成川田子	則和美禎幸祝	子美子一蔵一	古川清幸	松佐白馬	崎藤石場	勝清太	忠男郎吉				水大矢山	野内吹崎	一嘉政	郎明勝修								
岩瀬					佐石	藤井	成文	行和						村久森	越下	キ正修	子智一	吉佐遠	田藤藤	義和昭	見男男	佐車石星	藤田井	英栄正裕	雄寿和明	本佐鈴古坂小	間間木川口林	裕輝光ま好昭	哉克男み美一			
石川	佐水緑	藤野川	富勝好	男広美	高橋国西生館	木本井牧目	兼栄昭義岩	一一郎洋夫						酒岡	井田	ミ長	子次	斎吉鈴	藤田木	英多平	幸次	緑矢	川内	和光	助義	矢吉島	内田貫	青春	栄男賢			
田村	橋佐先横	本藤崎田	俊順澄幸	宏一夫一	石片	井吉	賢慶	明子					桑佐柳星笠三佐野宗	渡早松	辺坂本	かつ文	よ一子	角土佐	田屋藤	哲省忠	夫一郎	舞	木和	広	榎佐渡	本間辺	文義堅	惠幸一				
西白河	安中大駒海佐小	藤島塚橋上藤池	敬恭五泰公日出	男功一六子春男	大水遠穴真	塩谷藤沢船	晴祐清恒	昭雄介一郎	根齋内堀高庄	本藤山田昌司	輝松義賢辰	久郎廣治清寛	滝田国男	森北鈴藤大藤	條木田沢田	勝一英武次利	政明男功郎春				山金佐佐天	崎澤間藤倉	一政正芳	史勝己一建	佐伊近	藤藤藤	泰	勝孝則				
東白川	鈴木藤小	木縄田松	文武一健	男夫男郎	山小野早	田中見	昌喜	美嗣勉	吉鈴谷金斎安	成木部沢藤住	友太一義テル	一己實徳子	山小山田	木村	淳	子	鈴近本	木藤多	正春	幸崇子		小戸菊戸芳岡岡生男	川田地利賀根部根目賀	秋恒正義山徳忠	廣勉夫明美郎子次一登	金吉	澤市	明利	徳夫			
南会津	星馬場	知久	郎夫	男功一六子春男	山小野早	田中見	昌喜	美嗣勉	吉鈴谷金斎安	成木部沢藤住	友太一義テル	一己實徳子	山小山田	木村	淳	子	鈴近本	木藤多	正春	幸崇子		小戸菊戸芳岡岡生男	川田地利賀根部根目賀	秋恒正義山徳忠	廣勉夫明美郎子次一登	金吉	澤市	明利	徳夫			
北会津					中中菊	村嶋地	博富美	一子枝	金田	義道															菅高	家橋橋	輝富一	男威美				
耶麻	目黒修世	金斎横	子藤川	一新憲	三二子	深瀬	桂子	鈴加	木藤	秀三	一男														菅高	家橋橋	輝富一	男威美				
両沼	長後根高二	野藤本倉瓶	健秀昌好伸	吾志博博	芦菅坂	澤家内	弥靖孝	市郎一	小小小大若	畑沢林竹林	修品信新	一利房一													鈴樋佐角栗	木口藤田原	清裕高裕公	介子子慈一				
いわき	岩遠野佐菅	井藤木藤野	源庄孝三佳	之郎夫郎菅	高白村箱水野	木土上崎谷	子朗行雄夫																		鈴樋佐角栗	木口藤田原	清裕高裕公	介子子慈一				
双葉	村小松小新	上田本磯家	作正広文俊	之之之行遍美	長松阿大松	岡本越村	惣裕和憲宏	一洋子一栄	清栄孝康一	木川岡森辺	一治雄正夫														鈴樋佐角栗	木口藤田原	清裕高裕公	介子子慈一				
相馬	佐藤	宏			但武石	野島橋	浩昭邦	秀良英	阿部																鈴樋佐角栗	木口藤田原	清裕高裕公	介子子慈一				

年度 支部	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
福島	三佐菅 浦藤野 常政英 治夫幸	佐宗野渡鈴 藤像田辺木 俊與恒義光 一郎夫明二	松林 田正 義直	齋黒菅丹高佐作 藤澤野野橋藤田 力敏 正義研義 利利	夫雄敏勝東夫 先行	水渡山三 戸辺田浦 眞誠貢喬 由子市子	遠藤 藤 やす子	沼鈴樋須 沢木口藤 行み光繁 暗よ一雄
伊達	佐藤大齋 丹渡木武	大佐 佐藤 明	遠宗菅 藤川野 由忠	均則司 藤川野 由忠	鈴木直人 鳴高杉 原山 優隆 記博	八佐八大 巻間島橋 源広箱栄 弘實三光 橋藤野辺 高菅渡	一昭幸二 諱一郎浩 遠菅山西 藤野田戸 孝孝恵子	菅橋高 野内野 亀文ゆき 由子よ
安達	嶋柳山渡村影宗	前天河安 田野治田 廣景信	行明和昇 熊鈴仲浜神中菊鈴	穂雄裕子雄範子孝 高友たか志藤照 田木田津田原地木		熊田忠 田原秀子	遠藤 藤中 みどり子	服部忠男
岩瀬		榊角田猪 枝田代越 正一嘉義 和典一 幸美	夫幸宏信 夫子夫稔二子智	江田隆一	次枝也一 弘千光常 藤藤子木 遠佐金鈴	関石 根堂 篤周 實市		安藤順子
石川	生田目藤 悦弘 雄信	田林沼谷谷田見 山小永瀬瀬大人	智		佐久間妻 正慶慶 作三 高佐吉	渡久緑 邊木川 仁行聰	太夫大緑水閑遠	徳治一子内一
田村	渡松佐秋吉	仁一郎江子 正賢四美 宗像	智	増三鈴遠吉	石安 井瀬 忠義 重正	大和田純一 白	利吉	司光吉春一平光雄郎枝
西白河	辺高沼野小長鈴小	男子昭勝勝一正寿 辰ひ信 新勝 見橋田木室倉木針	徹雄子子弥瑞 茂陽横鉄 上林澤木井田 中小中秋堀塩	弘雄之一美男 吉英博信正政 土山田野船川 白兒武伊真緑	り一典伴子 み賢和茂美 屋本辺木澤 土橋渡鈴池	穂積功祐 根錦渡 本織辺 重秀由美	治男子 重美	和博英好隆清雅一寿仲
東白川	鈴木新市	緑岸 川波 康龍 孝一	遠松 藤本 公直 一子	佐川昭夫	吉田 阿新鈴吉飯山木	鈴木香		博寿男聲
南会津	玉河馬	男夫弘助 森忠信要 川田田場	郎則己子人一一 美芳正信仲宗健 田川山 嵐場竹 貝玉児星五馬大	星目 黒	賢宏好 仲孝武 部国木津塚内下 阿新鈴吉飯山木	男江通 津部橋 忠珠 阿渡大		子正紹子和博彦成之也彦美
北会津	阿部昌広	遠星五龍横 藤 嵐木山 陽弘幸キ	仁子之子 陽弘幸キ	猪三渡吉大山	雄喜江一昭庸 幹芳芳伸敏博 瀬星部田波口 瀬平安田菊	子男一一 礼照啓浩 上野野井 井田小室	一子 義智 熊木 小鈴	豊彦
耶麻	大五永 塚風島 七忠耕 子古司	子古司 伊比 要千恵 昭要子子修	子古司 伊比 要千恵 昭要子子修	猪 俣 みゆき	子博子晴 聖利智善 斎瓶瓶田 安二吉	江男吉 和英多 尾海田 細内岩	均良一 忠幸 川橋野 山板上	子也子男一
両沼	大松石	竹崎本 仲研 一二修	子古司 伊比 要千恵 昭要子子修	雄幸子子子夫 春利淑文豊和 島本藤川家城 川根佐森菅栗	剛一昭浩雄 光年偽昭 野部崎地 樋平安田菊	雄一功行 一祥久 木嶺本藤 鈴長根佐	夫一郎子 範俊一幸 風村田沼 吉蓮佐小渡五津	子男一
いわき	秋鈴市佐	喜美子 喜美子 喜美子	喜美子 喜美子 喜美子	子枝 子枝 子枝	渡辺国一 白吉箱鈴	衛子子子 正美し桂 喜多郁寛	成市次二 良武俊光善 内藤出藤	児竹司彦子
双葉	山栗沢田井星	要千恵 要千恵 要千恵	要千恵 要千恵 要千恵	元狩元原本島 元狩元原本島 元狩元原本島	千渡藤 梅留四 葉邊森	北藤菅遠 郷谷野藤 一淳廣秀	充之子子 和勝ノ 箭遠井遠	貫清博慶ゆり
相馬	伏天松佐	見野野藤 利俊た一 博夫子仁	阿高小大西片加早小	志雄利久子一雄子清進 孝敏清善と秀義典 部野林村津内山藤川屋	立小堀 谷倉 品陽千夏	子一子 子一子 子一子	子一子 子一子 子一子	児竹司彦子

年度 支部	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
福 島	安布山氏 部野田家 廣清幸美 志子廣子 代	郡菊渡六山齋 司田辺戸田藤 信悦 次達	子夫隆雄男陸 巴哉雄	茂沢松遠 木田本藤 善三隆和	勝四男典 一十一隆一 子秀	三子史 幸洋圭 島田野 寺吉藤	郎ヨ子 謙リ純 田部巻 作阿八	幸子男子夫 昌國晴日久 齋藤本原野 安後塚笠高
伊 達	今大小菅斎千 村橋坂野藤葉 久一伸智正美	子雄夫子義知 三岡佐 浦崎藤 克卓辰	武勇洋俊 仲 中橋戸田泉内 田高穴石小大	菅 野 秀 子 一十一隆一 一十一隆一	橋佐佐霜佐橋大佐 本藤藤木山本本戸藤 美福幹章紀孝憲ひ信 枝子雄品行志三で幸	齋菅 藤野 恵京 子寿	初 男努 正房逸 浦橋宅 藤田 佐山	
安 達	鈴木千佐窪菅 木内葉藤田野 喜孝芳延フ多	男司美子子子 三瓶 裕 昭 三	常嶋 泉原 宗和	芳洋 阿服佐伊伊渡菊 久	ツ子一彌義崇子 ハ洋伸健秋 義 部部間藤藤辺地 久	中伊磯 村藤松 伸勇 郎治等	武桜星遠武 藤井 藤田 悦弘次純幸	雄一 孝昇 山藤 押斎
郡 山	鈴木深遠高山浜渡古 木木澤藤野崎津邊川 美文美 ト健み彰義	子子子子子子 和子子子子子 美根シ一き裕栄	ル真徳均夫子一子 テ一 義由幸友 川藤沼江山谷谷田 今遠柳入中門岩崇	子子子子子子 塩須 谷田 光邦	佐大柳園遠橋増増関宗渡 松 形 崎 藤藤沼部藤本子木 正勝 純正ひ善絹秀聖正 孝 洋見寛子一子次子隆一美一昭	宮 田 孝 一 芳彦子子子 正一加洋マユ 壁田田川和 真熊稲面瀬	子子子子子子 正京 友秀征和 馬橋相安人渡野 場本樂田見辺村	子操 悦 間木 佐久八
岩 瀬	蒲佐小 生川松 博久栄	明子寿 吉鈴木 子人政	子子子子子子 清美澄勝 本山田字 橋内吉十文	子子子子子子 塩須 谷田 光邦	子子子子子子 塩須 谷田 光邦	鈴菅 木生 敏広	子子子子子子 正京 友秀征和 馬橋相安人渡野	子操 悦 間木 佐久八
石 川	藤 井 浩 橋早吉浦渡白大河	孝孝義正芳茂富 本川田山邊岩原 吉夫美一江夫二	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	正善信子 康徳定啓 井瓶原部 石二大押	幸美直子 孝里 伸 井崎田本 坪先飛橋	子子子子子子 正京 友秀征和 馬橋相安人渡野	弘好 正昭 本辺 松渡
田 村	藤 井 浩 橋早吉浦渡白大河	孝孝義正芳茂富 本川田山邊岩原 吉夫美一江夫二	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	正善信子 康徳定啓 井瓶原部 石二大押	幸美直子 孝里 伸 井崎田本 坪先飛橋	子子子子子子 正京 友秀征和 馬橋相安人渡野	弘好 正昭 本辺 松渡
西白河	高芳渡常小加高矢 久賀部松藤田吹 定英好喜久和雅利	子雄弥彦子久雄夫 子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴
東白川	橋松大石 本本内川 義一孝奈	治伺子保 小 室 耕 一 青金松緑渡鈴	一寿夫二三き 利 敏浩正ま 砥澤本川邊木 青金松緑渡鈴	一寿夫二三き 利 敏浩正ま 砥澤本川邊木 青金松緑渡鈴	一寿夫二三き 利 敏浩正ま 砥澤本川邊木 青金松緑渡鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴
南会津	小平渡 勝野部 正義和	博弘美 子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴	子子子子子子 義勝太清 明 藤藤越沢木木 佐佐大藤高鈴
北会津	石二磯渡 井瓶川部 久正正	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	子勝雄誠 一通通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三
耶 麻	遠 藤 七三江 嘉五上小酒小長上尾	代風野林井樟川野形 二荒外小栗 瓶井島林城	一通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	一通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	一通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	一通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	一通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三	一通子美司子男恵子 玄利恵直隆雅辰好京 由智 三三
両 沼	児福大小青目栗長渡羽 島島島池木黒田川部染 冷久昇 一 美秋恵美	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子
いわき	石斎柳 井藤田 文記庄	雄衛一 兵衛一 文記庄	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子
双 葉	松 本 貴一朗 矢瀧脇 森 坂	一 男 洋幹哲 矢瀧脇	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子
相 馬	水藤 戸 田 洋文	一 子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子	子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子 子子子子子子

年度 支部	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
福 島				尾菅閔景齋 形野川井藤 省増英正正 次夫子明人			鳴 原 次 雄 佐齋佐梅鶴相			藤藤藤宮川原 忠房裕美光義 廣夫子均雄幸			後三本齋 藤浦田藤 由真正勝 美朗人士			黒津高森小渡芳佐 羽田橋口原邊賀藤 達純良和孝 正秀 則一行春嗣努人美						鳥 今 佐 居野藤 邦和暗 恵好美		
伊 達	熊野 倉田 直 勉人						和松菅 田浦野 昌秀悦 子明子			瀧 谷 陽 子			齋塩浅渡 藤谷野辺 英靖利重 政夫之子			伊齋 藤藤 玲幸 子男			菅池佐加佐齋山金 野田藤藤藤本野 敦悦和善史健一麻 子子好広彦太芳衣			佐 藤 庄 一		
安 達	遠安野渡 藤藤地邊 茂み伊隆 雄圭治一 ち勢			川阿國佐野 崎部分藤内 邦正 喜文 彦彦忠郎孝			伊眞桑 藤田原 勝博恵 美史美			諸菅遠 橋原藤 一奈弘 美史美			三渡 浦辺 貴 志好			大新松三佐 内谷本浦木 友義昌正久 美 子晴文子			遠 藤 英 樹			遠 藤 聡		
郡 山	佐岡橋岡本三遠 野部本分田本藤 光岸昇保 正 江子一美茂光茂			子一明男美子み 順久俊 三明清ひと 木藤栗井田谷田 鈴佐平石大口横栄			佐関上小笹佐佐 藤野能山藤藤 弘昇秀雄郎子			市男枝夫樹昭 結忠文敏直利 田馬藤藤木間 黒有齋齋鈴小			古村加青宮及鈴 川上菊山川川木 正清武崇 照 昭			勉直博彦美紀正 松村山本田妻 智正義邦 子光孝大恵孝			石吾遠 田妻藤 慶五清 仁子之			鈴木大熊松太石 木槻谷本田井 美美修滋勝 子子聡一美博		
	岩 瀬																							
石 川				三蛭 瓶田 善 孝哲			中 島 徹			遠 藤 浩			吉鈴小濱 田木木田 英謙義 弘治成猛			橋 本 友 美						大相大 竹榮竹 裕次芳 子雄男		
田 村	佐戸猪加松早 藤松狩藤本川 嘉徳久正和 久明孝生男典			三大吉先 部楽田崎 武治恵 夫登美美			根村齋 内上藤 貴 司淳勝			会亀 田田久 美理 柏山橋			原中本 一由香 勝功里						雨永郡佐久 谷山司間 勝一栄伊 彦夫子一			大河原 輝 子		
西白河	瀬野 谷口 貴定 之義			松折邊原吉 山笠見田 和敏弘知小 弘之子幸子			塩佐々野 澤木内 裕 也崇高			瀬木崎吹崎木 和信松加真雅 子雄代美也			金深増緑宗 澤谷子川田 邦孝勝 和亘広寿貴			古 張 喜 勝			橋十須鈴小根 本字永木針本 まよ敬元幸大 み子行子蔵介			澤穂菊柳深大近 口積池沼澤木藤 柳宏克順曉真和 郎幸文明美一光		
東白川	岡坂宗矢蛭 部本田吹田 宏清和清代 昭美貴浩枝			星 佐矢二 瀬木瓶 良郁正 一雄人			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			池信川本 嘉純大 敏富大順孝 一之美善子男			金深増緑宗 澤谷子川田 邦孝勝 和亘広寿貴			古 張 喜 勝			車石武鈴 田川藤木 嵐取 一緒			永 山 貴 章		
南会津	馬 場 由 人			近			印大五佐 南東風藤 春一健隆 樹臣司一			渡星馬菅小渡 部 場家野部 敏富大順孝 一之美善子男			小山 山田 ひとみ蔵 佐星			藤 進広賢太 也一郎			五梁 陽麻 一緒			田梁五十平 村取嵐野 起元之		
北会津	横 澤 勇 司			佐矢二 瀬木瓶 良郁正 一雄人			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			松 村 清 子			高 畑 潤			神神五十 田本風 和三史 秀恵朗			佐 藤 仁 子					
耶 麻	穴田 澤中 裕 侯剛			鈴木陽介 安尾遠須 部野藤藤 重克秀博 浩昭明幸									樟五長山三小 山嵐井田瓶林 松成俊善美舞 子子明浩香子			佐 藤 江利子			遠大青津菊猪小赤鈴 久十 保嵐下竹橋田 小五雪大高石			隆雄枝梧也美孝一成 博康春 雅睦秀和 藤竹木瀧地俣柴城木 則 一志津		
両 沼	本 名 民 子			菅鈴 家木 友美 子恵			笹猪藤田 川俣田崎 純奈一 一美実恵			小 池 弘 輝			山佐山 口藤崎 新一 守一人			五十嵐 道 夫			浩子明勲彦子 則 一志津			仲太朗清恵		
いわき				鈴秋齋緑坂 木山藤川本 孝里祐伸久 美幾 子美二弥子			立大佐和松 谷土藤泉本 ち光ひ森 子雄実子雄			坂根赤高菊大 戸池部澤 貴光昌和 恵男之 恵子弘巳			鎌渡 藤辺川 啓悦卓 子三岡管			徳子美清 裕真奈			伊新菅荻 東妻谷野 正公孝利 光夫生夫					
双 葉	菊久猪 池田狩 直利 子学夫			松鈴川吉西 本木井田山 万光美嘉喜 江政樹明恵 子学夫						佐渡堀 藤辺川 啓悦卓 子三岡管			鎌渡 藤辺川 啓悦卓 子三岡管			行也 恭達 田部			梶浅齋 原野藤 宙恵 修保子 鹿遠 股 隼 保人					
相 馬	鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸			鈴木啓太 鈴木啓太 重克秀博 浩昭明幸		

2 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰

昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年
三浦松好(郡山)	笠原茂吉(福島)	東条覚(矢吹)	岩谷定雄(須賀川)	後藤不二夫(福島)	杉山義之助(郡山)
林庫之進(飯館)	五十嵐謙一郎(南会津)	五十嵐久(三島)	伊藤栄次(熱塩加納)	松本栄吉(棚倉)	小沢昭寿(猪苗代)

昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年
安田巖(福島)	菅野哲男(月舘)	諸橋雄司(二本松)	斎藤功夫(福島)	加藤慶一(伊達)	今野剛光(福島)
吉田実(船引)	松本和男(岩代)	緑川浩(古殿)	国分正(郡山)	木田宏司(郡山)	根本乙次(岩代)
古市貫一郎(塙)	遠藤茂(白河)	先崎通雄(滝根)	菅生誠(古殿)	後藤勇雄(猪苗代)	佐藤裕次(郡山)
諏佐茂夫(金山)	土屋弘(会津若松)	渡辺満男(白河)	難波平八郎(白河)	鈴木周則(塩川)	先崎高(小野)
大和田一雄(いわき)	鎌田祐賢(喜多方)	松崎繁(喜多方)	横山五郎(会津高田)	丹野操(いわき)	佐藤邦男(塙)
船木庸一(いわき)	小野ヒロ子(鹿島)	大和田光明(原町)	桑原高志(いわき)	相良正巳(鹿島)	吉田利男(会津若松)

平成5年度	平成6年	平成7年
佐藤克巳(福島)	鈴木義興(大信)	島貫廣(福島)
丸山孝夫(伊達)	長田辰夫(矢祭)	玉置一格(郡山)
村木一郎(郡山)	小池倉一(会津高田)	藤泉昭一(三春)
橋本節子(郡山)	石田友直(相馬)	鈴木茂弥(西郷)
遠藤康敬(都路)	豊田宏朗(鹿島)	佐藤廣志(会津坂下)
		塩田一恵(柳津)
		渡部知一(金山)
		後藤喜久雄(いわき)
		大竹保(大熊)
		鈴木トキエ(郡山)
		渡辺良次(棚倉)
		古関恵美子(福島)
		佐藤進(川俣)
		橋政弘(保原)
		鈴木トキエ(郡山)
		高木文郎(いわき)
		猪狩昌之(川内)

平成8年	平成9年	平成10年
小下芳男(福島)	石井功一(塙)	富田徳治(福島)
土田吟子(伊達)	五十嵐久夫(喜多方)	小林正彦(二本松)
佐久間康(二本松)	吉田誠(いわき)	深沢京子(郡山)
相楽宗広(郡山)	幸森正男(広野)	斎藤節子(須賀川)
須藤博(白河)	佐野健治(原町)	中村一男(浅川)
		和知文雄(白河)
		渡部孝(会津若松)
		増田正子(会津高田)
		高木伸勝(いわき)
		大河原正一郎(長沼)
		佐藤建(平田)
		管野利男(川俣)
		半澤万徳(月舘)
		降矢光夫(郡山)
		星忠之(会津本郷)
		高崎教正(いわき)
		新妻常敬(広野)

平成11年	平成12年	平成13年
齋藤公民(福島)	鈴木文男(塙)	東城藤吉(保原)
吉田左重(安達)	薄俊昭(会津本郷)	土屋英夫(二本松)
西牧義郎(平田)	加藤京子(いわき)	松本昌記(岩代)
望月敏博(白河)	佐々木保彦(浪江)	鈴木文子(長沼)
穂積忠芳(表郷)	齋藤清明(原町)	石井修(常葉)
		佐川芳正(矢祭)
		古川昭雄(会津若松)
		浅川雅典(猪苗代)
		阿部輝雄(喜多方)
		菅家靖一郎(金山)
		五十嵐久夫(昭和)
		福田一男(いわき)
		穴倉廣和(富岡)
		佐藤成行(須賀川)
		宇佐美重治(小野)
		中島功(白河)
		安住テル子(矢祭)
		岸ひろみ(福島)
		八巻貞吉(桑折)
		斎藤徹(大玉)
		堀正治(郡山)
		佐藤成行(須賀川)
		坂内孝一(金山)
		坂本満恵(いわき)
		吉沢昭夫(いわき)
		青木泰(南郷)
		目黒長一郎(只見)
		田澤一夫(塩川)
		長谷川正市(塩川)

平成14年	平成15年	平成16年
大内政二(飯野)	渡部喜則(猪苗代)	高橋光子(福島)
安田仙松(川俣)	深瀬桂子(喜多方)	二木康視(福島)
二瓶義行(二本松)	渡邊忠(西会津)	古内清行(国見)
菅野力雄(二本松)	高倉好博(湯川)	菅野敬(東和)
青山昭(郡山)	佐々木清一(双葉)	佐藤彦一(安達)
中山豊子(須賀川)	鳥原利美(原町)	吉川次男(郡山)
橋本栄一(石川)	山田喜一郎(鹿島)	吉田静夫(都路)
早坂光一(常葉)		根本輝久(白河)
		小針孝廣(西郷)
		金澤實(矢祭)
		大橋富男(田島)
		二瓶伸博(柳津)
		森トキ子(相馬)
		山口征子(いわき)
		吉岡孝雄(大熊)
		森口洋武(福島)
		鈴木太一(塙)
		斎藤康雄(東和)
		柴田勝則(矢祭)
		橋本義衛(郡山)
		渡部正廣(田島)
		柳沼情(郡山)
		塚原啓一(喜多方)
		小林昭一(鏡石)
		会川新平(いわき)
		芳賀常男(平田)
		吉村弘志(いわき)
		横田幸一(滝根)
		渡邊一夫(川内)
		佐藤芳一(大信)
		江本節子(原町)

平成17年	平成18年	平成19年
山崎光彦(福島)	星盛雄(南会津町(旧田島町))	佐藤昶(福島)
尾形勉(福島)	新田榮司(西会津町)	星栄五(南会津)
半澤美樹夫(二本松市)	栗原公一(会津美里町)	佐久間太(二本松)
伊東次子(郡山市)	古川兼良(いわき市)	安斎聖子(喜多方)
森修一(天栄村)	齋藤絹子(大熊町)	樋口栄一(会津坂下)
岡田長次(浅川町)	渡邊秀昭(浪江町)	鈴木武司(いわき)
藤田武功(白河市(旧東村))	高野敏雄(南相馬市(旧原町市))	久賀三枝子(広野)
山本セイ(棚倉町)		石川栄次(双葉)
		武島昭良(相馬)
		阿部紘信(福島)
		渡辺かつよ(田村)
		三浦常治(飯野)
		佐藤公春(西郷)
		千葉智一(伊達)
		大楢守(棚倉)
		遠藤仁(会津若松)
		野木孝夫(いわき)
		川崎豊(浪江)
		高田正雄(南相馬)
		吉田義見(須賀川)
		落合薫(郡山)
		吉田義見(須賀川)
		戸井田勉(塙)

平成20年		平成21年		平成22年	
遠藤正行(伊達)	堀田賢治(西白河)	松田義(福島)	谷田部一巳(東白川)	黒澤敏雄(福島)	二瓶芳雄(北会津)
清野良治(伊達)	戸村正明(東白川)	齋藤博幸(伊達)	猪股純一(南会津)	佐藤英章(伊達)	小林信房(両沼)
松崎忠(郡山)	酒井眞喜男(南会津)	八巻芙美子(伊達)	内海英男(耶麻)	伊藤賢一(安達)	梁取新助(南会津)
鈴木常一(岩瀬)	芦澤弥市(両沼)	角田正昭(安達)	小沢晶利(両沼)	渡辺京子(郡山)	鈴木重利(双葉)
小林典子(石川)	秋山喜美子(いわき)	柳沼昭榮(郡山)	市橋貞子(いわき)	舞木和弘(田村)	米津とき子(相馬)
榎本文恵(田村)	菅野佳誉(いわき)	嶋崎マサ子(郡山)	佐藤奈美子(いわき)	塩田瑞(西白河)	渡辺国一(いわき)
大塚恭一(西白河)	新家俊美(双葉)	遠藤裕介(西白河)	中島道男(双葉)	本多春子(東白川)	

平成23年		平成24年		平成25年	
近藤崇(東白川)	影山信子(郡山)	三浦光雄(福島)	五十嵐啓介(西白河)	沼沢行晴(福島)	阿部昌広(北会津)
石井忠(伊達)	佐藤弘信(石川)	水戸真由子(福島)	遠藤公一(東白川)	佐藤研策(福島)	菅家豊子(両沼)
田部照男(北会津)	野田恒夫(福島)	八巻源一(伊達)	松本直子(東白川)	濱津たか子(郡山)	木下武司(南会津)
宗像一久(田村)	千葉梅子(双葉)	佐藤延子(安達)	渡部芳江(北会津)	佐藤勝男(郡山)	玉川森男(南会津)
小林芳信(耶麻)	杉内貞夫(安達)	菅野三郎(安達)	高橋一美(北会津)	石井忠重(田村)	亀岩正寛(相馬)
中上徹(西白河)	鈴木栄喜(いわき)	天野景明(郡山)	星陽子(北会津)	佐久間正己(西白河)	熊正子(相馬)
小屋進(相馬)	高橋富蔵(北会津)	安藤順子(石川)	岩田多吉(耶麻)	入谷みちこ(西白河)	箱崎しげ子(いわき)
斎藤早苗(両沼)	金澤明德(東白川)	鈴木慶子(石川)	根本利幸(両沼)	佐川昭夫(東白川)	鈴木良成(いわき)
		笠間忠(田村)	土橋一徳(南会津)		
		土屋省一(田村)	石田義広(相馬)		
		宗像智(田村)	松野たつ子(相馬)		
		真船恒郎(西白河)	白土正衛(いわき)		
		天倉健(西白河)	吉田美佐子(いわき)		

平成26年		平成27年		平成28年	
林正直(福島)	古橋博(東白川)	鈴木みよ(福島)	鈴木祐美(北会津)	山田達男(福島)	菅原幸夫(西白河)
大橋美佐子(伊達)	長塚守男(東白川)	布野清子(福島)	伊藤富士江(北会津)	千葉芳美(安達)	石井久子(北会津)
佐藤辰雄(伊達)	長谷川辰男(耶麻)	大内伸一(伊達)	上野恵子(耶麻)	高野トシ子(郡山)	舟城敬子(耶麻)
安田昇(郡山)	長嶺祥一(両沼)	服部忠男(郡山)	八巻京子(相馬)	野中千佐子(郡山)	吉田幸輔(両沼)
橋本喜一(岩瀬)	河原田信弘(南会津)	鈴木高雄(郡山)	栗田要(双葉)	塩谷光子(岩瀬)	平野光一(両沼)
佐藤俊光(石川)	馬場要助(南会津)	三瓶清友(田村)	天野月子(双葉)	蒲生博明(石川)	大橋通(南会津)
柳沼孝則(田村)	星信子(南会津)	小針栄子(西白河)	鈴木俊次(いわき)	渡辺清平(田村)	水戸洋一(相馬)
高橋ひろ子(西白河)	小倉陽一(相馬)	松本一伺(東白川)		草野和司(田村)	石井文雄(いわき)

平成29年		平成30年		令和元年度	
氏家美代子(福島)	高田雅雄(西白河)	松本隆男(福島)	芳賀英雄(西白河)	三浦正一郎(福島)	吉田晴美(西白河)
齋藤正明(伊達)	橋本義治(東白川)	丹治傳一郎(伊達)	白坂浩一(東白川)	深谷美江子(伊達)	小林兵吉(西白河)
菅野幸一(伊達)	鈴木智子(北会津)	鈴木靖三(伊達)	上野幸男(耶麻)	小原公子(伊達)	石川奈保(東白川)
武田智道(安達)	小沼幸子(両沼)	櫻井弘和(安達)	五十嵐幸廣(両沼)	大内孝司(安達)	磯川正雄(北会津)
中原喜範(郡山)	田崎為浩(両沼)	田原秀子(郡山)	星秀紹(南会津)	菅野多佳子(安達)	上野好恵(耶麻)
吉田武夫(岩瀬)	熊ヶ谷頼子(南会津)	浜津みゆき(郡山)	山田伸一(相馬)	瀬和マユミ(岩瀬)	福島久美子(両沼)
水野礼子(石川)	横田喜美子(双葉)	吉田澄子(岩瀬)	渋谷容寿(双葉)	早川孝夫(田村)	荒義裕(相馬)
塩田隆一(田村)	櫛田庄一(いわき)	有松保則(西白河)	小林恵(いわき)	飛田直(田村)	箭内充(双葉)

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
作田謙太郎(福島)	土屋みどり(西白河)	寺島幸三(福島)	本多守(東白川)	八巻純子(福島)	松本敏夫(東白川)
寺島武(伊達)	緑川浩一(東白川)	磯松等(安達)	目黒充博(北会津)	大塚美代子(伊達)	田中剛(耶麻)
鈴木喜男(安達)	伊藤俊朗(北会津)	増子善次(郡山)	蒲生仁(耶麻)	鳴原和洋(安達)	渡部秋子(両沼)
野村和子(郡山)	栗城三市(両沼)	真壁正芳(岩瀬)	児島冷子(両沼)	伊藤秋義(安達)	星近(南会津)
内山美佐子(岩瀬)	玉川哲也(南会津)	八木操(岩瀬)	菊地実佐(南会津)	平栗俊一(岩瀬)	佐藤忠人(相馬)
水野輝政(石川)	菅野真弘(相馬)	佐藤アキイ(石川)	菅野孝雄(相馬)	矢吹タミイ(石川)	岡田貫児(双葉)
吉田義美(田村)	矢森洋一(双葉)	渡辺芳江(田村)	千葉幸生(双葉)	坪井孝幸(田村)	菊池直子(双葉)
渡邊由美子(西白河)	新妻みゆき(いわき)	竹内豊(西白河)	三戸まゆみ(いわき)	野木俊明(西白河)	遠藤邦男(いわき)

3 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合功労者表彰

昭和45年	昭和46年	昭和47年	昭和48年	昭和49年	昭和50年
相川 昇(双葉)	宮崎 徳治(二本松)	安藤 松男(石川)	鈴木 博(郡山)	佐藤 鉄雄(河東)	渡辺 市松(福島)

昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年
細川 健(福島)	星 好雄(下郷)	鈴木 一平(いわき)	騎西 五郎(二本松)	武田 守(福島)	西牧 晋二(石川)
草野 仁(いわき)	遠藤 久雄(喜多方)	高城 繁雄(原町)	小林 重信(鹿島)	佐藤 学(富岡)	上野 市男(熱塩加納)

昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年
遠藤 輝雄(須賀川)	佐々木 幸一郎(福島)	上田 昌夫(柳津)	佐藤 金一(伊達)	小木 豊治(石川)	渡辺 秋雄(二本松)
藤井 民二(いわき)	阿部 貞彦(郡山)	郡 芳一(鹿島)	吉田 誠(滝根)	萩原 三雄(いわき)	草野 吉四郎(棚倉)
					穴戸 弘典(富岡)

昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
大塚 利雄(郡山)	村田 力哉(郡山)	伊藤 光春(郡山)	永澤 悦(福島)	佐藤 孝子(郡山)	菅野 不二彦(福島)
生方 利夫(鮎川)	吉田 博一(矢祭)	加藤 浩(喜多方)	河野 勇(白河)	深谷 政蔵(いわき)	杉山 俊彦(岩代)
常盤 利昭(大熊)	只野 栄一(相馬)	石田 隆一(原町)	小室 勇(塙)	新妻 丈夫(原町)	阿部 嘉明(郡山)

平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
松浦 源吉(保原)	難波 平八郎(白河)	後藤 不二夫(福島)	安田 巖(福島)	斎藤 功夫(福島)	今野 剛光(福島)
永山 美智子(郡山)	松崎 繁(喜多方)	斎藤 元(郡山)	小島 正利(保原)	原 源一(熱塩加納)	藤泉 昭一(三春)
松崎 秀吉(大越)	鈴木 庸一(いわき)	根本 重勝(表郷)	佐藤 祐次(郡山)	長谷川 義翁(いわき)	長田 辰夫(矢祭)
		後藤 勇雄(猪苗代)	鈴木 周則(塩川)	目黒 博(新地)	塩田 一恵(柳津)
		小峰 忍(いわき)	桑原 高志(いわき)		小野 ヒロ子(鹿島)

平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
橘 政弘(保原)	菅野 哲男(月舘)	小林 正彦(二本松)	富田 徳治(福島)	佐藤 健(平田)	斎藤 公民(福島)
渡邊 満男(白河)	須藤 博(白河)	相楽 宗廣(郡山)	半澤 万徳(月舘)	穂積 忠芳(表郷)	阿部 輝雄(喜多方)
渡部 孝美(会津若松)	佐藤 邦男(塙)	斎藤 節子(須賀川)	鈴木 文子(長沼)	鈴木 文男(塙)	五十嵐 久夫(昭和)
高木 文郎(いわき)	吉田 誠(いわき)	高木 伸勝(いわき)	高崎 教正(いわき)	薄 俊昭(会津本郷)	福田 一男(いわき)
豊田 宏朗(鹿島)	幸森 正男(広野)	志賀 秀栄(大熊)		加藤 京子(いわき)	小山田 芳(南相馬市(旧鹿島町))

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
東城 藤吉(伊達)	佐藤 成行(須賀川)	斎藤 徹(安達)	安田 仙松(福島)	高橋 光子(福島)	山崎 光彦(福島)
松本 昌記(二本松)	菅家 靖一郎(金山)	青山 昭(郡山)	柳沼 悌(郡山)	菅野 敬(安達)	中山 豊子(岩瀬)
堀 正治(郡山)	吉沢 昭夫(いわき)	穴倉 廣和(双葉)	渡部 喜則(北会津)	高倉 好博(両沼)	小針 孝廣(西白河)
長谷川 正市(湯川)	山田 喜一郎(南相馬)	日下 秀男(相馬)	佐々木 清一(双葉)	山口 征子(いわき)	二瓶 伸博(両沼)
坂本 満恵(いわき)					

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
松崎 和美(郡山)	半澤 美樹夫(二本松)	遠藤 正行(伊達)	松田 義(福島)	渡辺 京子(郡山)	野田 恒夫(福島)
小林 昭一(岩瀬)	落合 薫(郡山)	菅野 力雄(安達)	清野 良治(伊達)	小林 典子(石川)	伊藤 賢一(安達)
古川 昭雄(北会津)	岡田 長次(浅川)	嶋崎 マサ子(郡山)	斎藤 康雄(安達)	榎本文恵(田村)	中上 徹(西白河)
古川 兼良(いわき)	樋口 栄一(会津坂下)	石井 文和(岩瀬)	鈴木 太一(東白川)	大塚 恭一(西白河)	米津 とき子(相馬)
	会川 新平(いわき)	武島 昭良(相馬)	佐藤 奈美子(いわき)	遠藤 仁(北会津)	鈴木 栄喜(いわき)

平成30年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
石井 忠(伊達)	佐原 孝男(安達)	黒澤 敏雄(福島)	渡部 芳江(北会津)	沼澤 行晴(福島)
杉内 貞夫(安達)	堀田 賢治(西白河)	濱津 たか子(郡山)	小針 栄子(西白河)	佐藤 延子(安達)
五十嵐 啓介(西白河)	本多 春子(東白川)	宗像 智(田村)	石田 義広(相馬)	遠藤 公一(東白川)
二瓶 芳雄(北会津)	田部 照男(北会津)	高橋 ひろ子(西白河)	古橋 博(東白川)	伊藤 富士江(北会津)
鈴木 武司(いわき)	小屋 進(相馬)	松本 直子(東白川)	佐藤 昶(福島)	大橋 通(南会津)

4 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰

平成 7 年	平成 8 年	平成 9 年	平成10年	平成11年	平成12年
郡山市体育指導委員会	会津若松市体育指導委員会	二本松市体育指導委員会	須賀川市体育指導委員会	いわき市体育指導委員会	喜多方市体育指導委員会
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
白河市体育指導委員会	相馬市体育指導委員会	福島支部体育指導委員連絡協議会	三春町体育指導委員会	北会津管内体育指導委員連絡協議会	南相馬市体育指導委員会
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
安達地方体育指導委員連絡協議会	岩瀬管内体育指導委員連絡協議会	いわき市体育指導委員会	喜多方市体育指導委員会	白河市スポーツ推進委員会	相馬市スポーツ推進委員会
平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
該当なし	伊達地方スポーツ推進委員連絡協議会	該当なし	本宮市スポーツ推進委員会	福島市スポーツ推進委員会	田村市スポーツ推進委員会
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
会津若松市スポーツ推進委員会	該当なし	該当なし	南相馬市スポーツ推進委員会		

5 文部大臣表彰（平成13年以降文部科学大臣表彰）

昭和57年	昭和62年	平成4年	平成7年(連合設立20周年記念)	平成9年	平成12年
渡辺市松(福島)	騎西五郎(二本松)	細川健(福島)	佐々木幸一郎(福島)	佐藤金一(伊達)	伊藤光春(郡山)
遠藤久雄(喜多方)	遠藤輝雄(須賀川)	阿部貞彦(郡山)	加藤浩(喜多方)	村田力哉(郡山)	吉田博一(矢祭)
鈴木一平(いわき)	小林重信(鹿島)	郡芳一(鹿島)	穴戸弘興(富岡)	難波平八郎(白河)	松崎繁(喜多方)
				常盤利昭(大熊)	
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
永山美智子(郡山)	齋藤元(郡山)	渡部孝美(会津若松市)	塩田一恵(柳津)	小林正彦(二本松)	今野剛光(福島)
鈴木周則(塩川)	根本重勝(表郷)	石田隆一(原町市)	渡邊満男(白河)	薄俊昭(会津美里)	高崎教正(いわき)
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
鈴木文男(塙町)	堀正治(郡山)	菅野哲男(伊達)	柳沼愐(郡山)	高橋光子(福島)	山崎光彦(福島)
阿部輝雄(喜多方)	佐藤成行(須賀川)	坂本満恵(いわき)	斎藤徹(安達)	安田仙松(福島)	小針孝廣(西白河)
平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
松崎和美(郡山)	岡田長次(石川)	菅野力雄(安達)	穂積忠芳(西白河)	佐藤奈美子(いわき)	松田義(福島)
古川昭雄(会津若松)		石井文和(岩瀬)	日下秀男(相馬)	鈴木太一(東白川)	遠藤仁(北会津)
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
大塚恭一(西白河)	會川新平(いわき)	小屋進(相馬)	本多春子(東白川)		
武島昭良(相馬)	米津とき子(相馬)	菅野敬(安達)	野田恒夫(福島)		

福島県スポーツ推進委員協議会規約

第1章 総 則

第1条 本会は、福島県スポーツ推進委員協議会と称し、事務所を福島県企画調整部文化スポーツ局スポーツ課内におく。

第2章 組 織

第2条 本会は、福島県内各市町村スポーツ推進委員をもって組織する。

第3条 本会は、次の地区に16の支部協議会をおく。

- (県北地区) 福島、伊達、安達
- (県中地区) 郡山、岩瀬、石川、田村
- (県南地区) 西白河、東白川
- (会津地区) 北会津、耶麻、両沼
- (南会津地区) 南会津
- (相双地区) 双葉、相馬
- (いわき地区) いわき

2 南会津及びいわき支部協議会を除く各支部協議会は、教育事務所管内ごとに地区協議会をおくことができる。

第3章 目的及び事業

第4条 本会は、会員相互の連絡を図り、スポーツ推進委員の資質向上と、体育・スポーツの推進に寄与することを目的とする。

第5条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 体育・スポーツに関する情報交換
- (2) 体育・スポーツに関する研修
- (3) 体育・スポーツに関する調査研究
- (4) その他目的達成に必要な事業

第4章 役 員

第6条 本会に、次の役員をおく。

会長1名、副会長7名、理事長1名、理事22名、監事3名、幹事若干名

第7条 会長及び副会長の選出は、次のとおりとする。

- 2 会長及び副会長は、地区から選出の各1名（以下、地区選出者）及び女性委員代表とする。
- 3 会長は、地区選出者の中から互選によって定める。
- 4 副会長は、会長に互選された以外の地区選出者及び女性委員代表とする。

第8条 理事は、各支部協議会より1名選出し、会長が委嘱する。このほか会長は、各地区より選出された女性委員1名及び学識経験者を理事として指名し、委嘱することができる。

2 理事長は、理事の互選とする。

第9条 監事は、県北・県中・県南で1名、会津・南会津で1名、相双・いわきで1名を選任する。

第10条 幹事は、会長が委嘱する。

第11条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 理事長は、会務を掌理する。

- (4) 理事は、理事会を組織し、重要事項を審議する。
- (5) 監事は、本会の会計を監査する。
- (6) 幹事は、理事長の命により庶務・会計を司る。

第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。補充の場合は前任者の残任期間とする。また任期満了といえども後任者決定までは、その職務を行うものとする。

第13条 この会に顧問をおくことができる。顧問は理事会の推薦によって会長がこれを推戴し、重要事項の諮問に応ずる。

第5章 会 議

第14条 本会に次の会議を置く。

- (1) 役員会
- (2) 理事会
- (3) 総 会

第6章 役 員 会

第15条 役員会は第7条の会長、副会長、第8条2項の理事長をもって構成する。

- 2 役員会の議長は会長とし、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 役員会は、会長が必要と認めたときに会長が招集する。
- 4 役員会は次の事項を議決する。
 - (1) 総会に付議すべき事項
 - (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (3) その他会務執行に関する事項

第7章 理 事 会

第16条 理事会は第7条の会長、副会長、第8条の理事をもって構成する。

- 2 理事会の議長は会長とし、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 理事会は年3回開催し、次の事項を議決する。
 - (1) 役員会で審議された、総会に付議すべき事項
 - (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (3) 事業計画及び収支予算の変更

第8章 総 会

第17条 総会は各市町村代表者1名をもって構成する。

- 2 総会の議長は総会構成委員の中から選出し、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 総会は年1回開催し、次の事項を議決する。
 - (1) 事業計画及び収支予算
 - (2) 事業報告及び収支決算
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員の選出
 - (5) その他重要事項

第9章 委 員 会

第18条 本会に表彰選考委員会、総務委員会、研修委員会、事業委員会をおくことができる。

- 2 表彰者選考委員会は、各種表彰の選考をおこなう。この会の委員は会長が委嘱し、副会長及び理事長とする。

このほか、会長が必要と認める場合には、若干名の委員を委嘱することができる。

- 3 総務委員会は、本会のPR活動（会報の発行、HP作成等）、各種団体との連絡調整、「みんなのスポーツ」「手帳」の購読・購買推進等をおこなう。この会の委員は、副会長2名、理事長、理事4名、女性委員4名とする。
- 4 研修委員会は、研究大会・新任研修会・女性研修会の企画立案・運営をおこなう。この会の委員は、副会長3名、理事5名、女性委員6名とする。
- 5 事業委員会は、ニュースポーツの普及、地域スポーツ事業の推進、総合型地域スポーツクラブとの連携等をおこなう。この会の委員は、副会長2名、理事6名、女性委員6名とする。

第10章 会 計

第19条 本会の経費は、市町村負担金、スポーツ推進委員の会費、補助金、寄附金及び事業収入、その他をもつてあてゐる。

第20条 本会の会計年度は毎年4月1日にはじまり翌年3月31日に終る。

第11章 会長専決事項

第21条 本会の歳出に予算更生が必要になった場合及び緊急を要する事項が生じた折は、会長がこれを専決処理することができる。

ただし、専決処理事項については、理事会に報告し承認を得なければならない。

第12章 補 則

第22条 本会に次の帳簿をおく。

会計簿、議事簿、その他必要な帳簿

第23条 本会に必要な細則は別に定めることができる。

附 則

この規約は昭和33年5月16日から施行する。

(略)

一部改正

昭和36年2月22日	昭和47年6月21日	平成9年5月13日	平成24年5月8日
昭和37年7月3日	昭和48年6月19日	平成15年5月14日	平成29年5月16日
昭和41年6月1日	昭和57年4月16日	平成16年5月12日	
昭和46年5月25日	平成4年5月8日	平成20年5月13日	

福島県スポーツ推進委員協議会の共催 及び後援等名義使用承認事務取扱要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、福島県スポーツ推進委員協議会（以下「県ス推」という。）が県ス推以外の事業主体者の行うスポーツ・レクリエーション関係事業等について共催、後援の名義使用を承認する場合の基準及びその他必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2 この要綱において、次の号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定める。

1 共催

事業の企画並びに運営に参画し、共同主体者として責任を分担することをいう。

2 後援

事業の趣旨に賛同し、その開催を援助することをいう。

(主催・後援の使用名義)

第3 共催・後援について使用する名義は「福島県スポーツ推進委員協議会」とする。

(承認の基準)

第4 福島県スポーツ推進委員協議会会長（以下「会長」という。）は、事業の主催者から共催等の申請があったときは、次の各号に掲げる基準により審査のうえ、承認するものとする。

1 主催者についての基準

- (1) 国若しくは地方公共団体又はこれらの行政機関
- (2) 学校等の教育機関又はこれらの連合体
- (3) 公益法人又はこれに準ずる団体
- (4) 新聞、テレビ等の報道機関
- (5) その他会長が認めるもの

2 事業内容についての承認基準

- (1) スポーツ・レクリエーションの向上又は普及に寄与するもので、公益性のある事業であること。ただし、宗教活動、政治活動又はもっぱら営利を主目的とすると認められるものは除く。
- (2) 参加対象が県民一般に広く及ぶものであること。ただし、内容が特に優れ、本県スポーツ・レクリエーションの向上又は普及に寄与するところが著しいと認められる事業については、この限りではない。
- (3) 県ス推の方針及び施策に反しないものであること。

(承認の手続き)

第5 共催等の使用承認を申請する者は、原則として共催等承認申請書（第1号様式）を開催期日1月前までに会長に提出しなければならない。

2 会長は前項の申請書を受理したときは、速やかに承認の諾否を文書（第2号様式）で通知するものとする。

(添付書類)

第6 前条に規定する申請書には、次の書類を添付するものとする。

- (1) 主催者の存在及び基礎を明らかにする書類
- (2) 役員その他事業関係者の住所及び役職名簿等を明らかにする書類

- (3) 事業の目的及び計画を明らかにする書類（予算書を含む）

（承認の条件）

第7 共催等名義使用を承認する場合は、次の条件を付すること。

- (1) 県ス推共催等である旨を開催要項等に明記すること。
- (2) 行事開催に当たり申請内容を変更しないこと。違反が認められた場合には、承認を取り消す場合がある。
- (3) 申請内容等を変更せざるを得ない事由が生じた場合には、速やかに届け出て改めて承認を受けること。
- (4) 行事終了後、1月以内に実績報告書（第3号様式）を提出すること。

（事務処理）

第8 承認の事務は、県ス推に関する事務を所管する福島県文化スポーツ局スポーツ課において処理する。

- 2 事務の決裁は、スポーツ課長が専決できる。

（補則）

第9 共催等の承認にあたっては、特に行事の目的、内容、規模、安全対策、主催者の信用度等を慎重に考慮するものとする。また、承認についても過去の実績にこだわることなく行事の精査、精選を行い、単に名義貸しとなることは厳に避けること。

- 2 過去に承認の条件に反したもののには、新たな承認は行わないこと。
- 3 この要綱に定めるもののほか、実施について必要な事項及び承認の取扱いとは別に定めるものとする。

（附則）

- 1 施行日

この要綱は、平成10年10月15日から施行する。

- 2 一部改正

平成20年4月1日

平成24年5月8日

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

表 彰 規 程

(趣 旨)

第1条 本連合が行う表彰は、この規程の定めるところによる。

(表彰の種類)

第2条 本連合が行う表彰は、次の種類とする。

- (1) スポーツ推進委員功労者表彰
- (2) 30年勤続スポーツ推進委員表彰
- (3) スポーツ推進委員優良団体表彰
- (4) 賛助会員等表彰（特別賛助会員を含む）

(被表彰者の推薦基準)

第3条 被表彰者の推薦は、次の(1)～(3)までの各号の一つに該当するほか、スポーツ推進委員功労者表彰候補者にあつては本条第1項第(4)号に、また、30年勤続スポーツ推進委員表彰候補者にあつては本条第1項第(5)号に、それぞれ該当する者の中から行う。

- (1) 長年にわたり、本連合、又は本連合加盟団体の運営に功績のあつた者
- (2) 長年にわたり、スポーツ推進委員として自己の研鑽に励むとともに、その属する地域のスポーツ振興に功績のあつた者又は団体
- (3) (1)、(2)ほか、本連合の事業等に顕著な功績のあつた者
- (4) スポーツ推進委員功労者表彰における被表彰候補者は、本連合の普通会員であり、スポーツ推進委員としての活動年数が、前年度末までに10年以上の者で、年齢が表彰日現在で満45歳以上の者
- (5) 30年勤続スポーツ推進委員表彰における被表彰候補者は、本連合の普通会員であり、本年度中にスポーツ推進委員として勤続30年を迎える者
- (6) 本連合の役職員として連合の発展に貢献した者
- (7) 一定額以上の賛助会費を納入し、本連合の発展に貢献した者又は団体

(被表彰者の推薦)

第4条 本連合専務理事並びに都道府県スポーツ推進委員協議会の代表者は、前条に該当すると認められる者があるときは、別に定める表彰の種類別の被表彰者推薦要項に基づき、被表彰者の推薦書を作成し、本連合会長宛に提出する。

2 スポーツ推進委員功労者表彰に係る都道府県スポーツ推進委員協議会の被表彰候補者推薦人数の算定基準は、別表1のとおりとする。

(被表彰者の決定)

第5条 本連合会長は、前条によって推薦された被表彰候補者について、本連合会長、専務理事、理事1名から成る被表彰者選考委員会に諮り、被表彰者を決定する。

(表 彰)

第6条 表彰は、毎年開催する全国スポーツ推進委員研究協議会において、本連合会長が被表彰者に対し、表彰状又は感謝状を贈って行う。

附 則

この規程は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成4年11月11日から施行する。

附 則

この規程は、平成12年3月4日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別表1

表彰規程第4条第2項に係る

スポーツ推進委員功労者表彰の都道府県協議会別被表彰者推薦人数の算定基準

普通会員数	推薦人数	普通会員数	推薦人数
300人以下	1人	2,401人～2,700人	9人以内
301人～600人	2人以内	2,701人～3,000人	10人以内
601人～900人	3人以内	3,001人～3,300人	11人以内
901人～1,200人	4人以内	3,301人～3,600人	12人以内
1,201人～1,500人	5人以内	3,601人～3,900人	13人以内
1,501人～1,800人	6人以内	3,901人～4,200人	14人以内
1,801人～2,100人	7人以内	4,201人～4,500人	15人以内
2,101人～2,400人	8人以内	4,501人以上	16人以内

* 推薦人数は、前年度の普通会員数に基づき決定する。

表彰に係る被表彰候補者推薦要項（抜粋）

1 趣 旨

本連合の表彰に係る表彰の種類別被表彰候補者の推薦は、本連合の表彰規程に基づくほか、この要項に従って行うものとする。

2 表彰の種類別被表彰候補者の推薦基準

この推薦基準は、本連合専務理事並びに都道府県スポーツ推進委員協議会における被表彰候補者の選考並びに被表彰候補者推薦書作成上の便を考慮したものである。したがって、本連合表彰規程第3条の被表彰者の推薦基準をすべて取り込んでいる。

(1) スポーツ推進委員功労者表彰の被表彰者推薦基準

- 1) 本連合の普通会員である者
- 2) 長年にわたり、本連合又は本連合加盟団体の運営に功績のあった者
- 3) 長年にわたり、スポーツ推進委員として自己の研鑽に励むとともに、その属する地域のスポーツ振興に功績のあった者
- 4) スポーツ推進委員としての活動年数が、前年度末で10年以上の者（ただし、現職に限る）
- 5) 年齢が表彰日現在で満45歳以上の者
- 6) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」を年間購読している者並びに本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」を購入している者
- 7) 被表彰候補者の推薦人数は、「別表1 表彰規定第4条第2項に係るスポーツ推進委員功労者表彰の都道府県協議会別被表彰候補者推薦人数の算定基準」に基づき算出した平成30年度都道府県スポーツ推進委員協議会別功労者表彰の被表彰候補者人数の範囲内とする。

(2) 30年勤続スポーツ推進委員表彰の被表彰者推薦基準

- 1) 本連合の普通会員である者
- 2) 本年度中にスポーツ推進委員（原則として表彰日現在の現職者）として勤続30年を迎える者（但し、通算30年のスポーツ推進委員の活動歴がある者で、退職してから1年以内の者を含む）
- 3) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」を年間購読している者並びに本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」を購入している者

(3) スポーツ推進委員優良団体表彰の被表彰候補団体推薦基準

- 1) 被表彰候補団体は、スポーツ推進委員で構成する団体であること
- 2) 被表彰候補団体は、原則として、市区（東京都23区及び政令指定都市の区）町村単位で組織した団体であり、団体設立後10年以上にわたって活動を継続している団体であること
- 3) 地域のスポーツ振興に顕著な業績を挙げ、地域住民の健康、体力の向上・維持に貢献している団体であること
- 4) 過去15年以内に団体として文部科学省又は本連合から表彰を受けていないこと
- 5) 合併後の市町村において、過去に本連合の表彰を受けていない市町村が含まれている場合は、被表彰候補団体となり得る
- 6) 被表彰候補団体数は、各都道府県1団体とする

(4) 退職役職員表彰の被表彰者推薦基準

- 1) 本連合の役員又は職員として、連合の発展に貢献した者で、前年度までに退任（職）した者

(5) 一般賛助会員（個人並びに団体）表彰の被表彰者推薦基準

- 1) 本連合賛助会員の会費が一定額以上に達した者（団体）

(6) 特別賛助会員（法人等）の被表彰基準

- 1) 特別賛助会員（法人等）の会費が一定額以上に達した法人等

平成19年6月1日総会承認 平成20年4月1日より施行

平成24年4月1日より施行

全国スポーツ推進委員連合表彰に関する福島県の申し合わせ事項

最終改正 平成30年2月24日

- (1) 20年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が、各支部1名本協議会へ推薦する。
- (2) 県の役員としての貢献度を重視し、活動年数・範囲・年齢・各地区での役職、方部等を考慮する。
- (3) 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けた者で、5年以上経過していること。
- (4) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」及び本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」をすでに個人で購読・購入していることとする。また、表彰年度も継続して購読・購入していることとする。
- (5) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (6) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。
- (7) 優良団体の推薦については、県研究大会を開催した市を推薦していく。その後は「公益社団法人スポーツ推進委員連合優良団体表彰要項」にある選考基準に基づき、1団体を選考し推薦する。

スポーツ推進委員グッズの頒布について

(公社) 全国スポーツ推進委員連合では、スタッフジャンパーやポロシャツ等のスポーツ推進委員グッズを頒布しています。

ご希望の方は、品名・数量・送付先等を明記のうえ、郵送又はFAXにて下記宛に直接お申し込みください。

【取扱品及び価格】

品 名	単価(税込)	品 名	単価(税込)
①ジャンパー(シルバー, 刺繍可)	6,600円	⑧スポーツ推進委員ハンドブック	1,000円
②ポロシャツ(ホワイト・ネイビー, 刺繍可)	2,950円	⑨バッジ	1,530円
③長袖ポロシャツ(ホワイト・ネイビー, 刺繍可)	3,260円	⑩タイ留め	1,530円
④ネクタイ(ネイビー・グリーン)	3,260円	⑪ピンブローチ	1,530円
⑤ハンドタオル(イエロー)	610円	⑫カフス、タイ留めセット	3,050円
⑥マフラータオル(イエロー)	1,020円	⑬トートバッグ	815円
⑦ハンカチタオル(ピンク・グリーン・イエロー)	410円	⑭クリップファイル	880円
★ 価格は税込み、送料は実費となります。 ★ お届けは名入りジャンパー、ポロシャツについては2週間、その他は1週間程度です。			

【申 込 先】

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 403

T E L / 03-6804-3341 F A X / 03-6804-3342

ホームページ <http://www.zentaishi.com/>

「みんなのスポーツ」購読申込みについて

福島県スポーツ推進委員協議会では、(公社) 全国スポーツ推進委員連合機関誌『みんなのスポーツ』の定期購読(年間購読料5,450円)を推奨しています。購読希望者は、各市町村の事務担当者または下記にお申し込みください。

【申 込 先】

(株)日本体育社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13

T E L 03-3811-6911 F A X 03-3811-6290

メールアドレス koudoku@minaspo.net

福　　ス　　ポ　　　　　第 46 号

令和 5 年 3 月 1 日発行

発 行 所 〒960-8670 福島市杉妻町 2-16
 福島県文化スポーツ局スポーツ課内
 福島県スポーツ推進委員協議会
 T E L (024) 521-7995

編 集 人 松 田 義
発 行 人

印 刷 所 (株) 山 川 印 刷 所
 福島市庄野字清水尻 1-10
 T E L (024) 593-2221

表紙写真／令和 4 年度福島県スポーツ推進委員研究大会
いわき市 塩屋崎灯台

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険[®]



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

令和5年4月1日午前0時から
令和6年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども※ (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども※ (中学生以下)	ワ(個人活動補償型) イド ド コ ー ス	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW 1,450円
大人 (高校生以上)		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下 4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上 5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。

スポあんネット
パソコン・スマホで
だれでも、かんたん
便利に使いやすい！



インターネット
で簡単
お手続き

公益財団法人 スポーツ安全協会



スポーツ安全保険 検索

LINE 公式アカウント



友だち募集中！

※本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室

☎ 0120-233-801
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和5年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

